

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化行政一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005001		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	明石市事務分掌条例、明石市事務分掌規則				
	事業	文化行政推進事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画	(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち							
	(節) 第5節 市民文化の高揚							
個別計画								

事業の目的	対象(誰を・何を)	文化行政の一般管理事務及び市職員
	意図(どういう状態にしたいのか)	文化行政の一般管理事務を円滑に行う。

事業内容	<平成20年度> 文化行政の一般管理事務。 <平成21年度> 文化行政の一般管理事務。 <平成22年度> 文化行政の一般管理事務を行う。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	942	5,400	6,342	0	0	0	6,342	0.48	0.00	0.00	0.00
21決算	977	4,500	5,477	0	0	0	5,477	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	1,066	5,130	6,196	0	0	0	6,196	0.30	0.00	0.00	0.78

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		旅費	近接地旅費等	185		
	需用費	消耗品費等	528			
	使用料及び賃借料	コピー使用料等	343			
	負担金補助及び交付金	講座参加負担金	10			
					合計	1,066

整理番号	2005001	事務事業名	文化行政一般事務事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	市が主体的に行う必要性は高い。
	有効性	高い	一般管理事務を円滑に行っている。
	効率性	高い	最低限の人員で効率的に事務をおこなっていると認められる。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	
	手法の改善	維持	
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針  
引き続き、効率的な事務推進に努める。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)						
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳				
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	
			削減見込①	0	0	0	0
			増加見込②	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0			

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化芸術振興基本計画策定等事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005002		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計			事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費			連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度	
	目	文化振興・国際交流費			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
	事業	文化行政推進事業			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画	(仮称)明石市文化芸術振興基本計画								

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民								
	意図(どういう状態にしたいのか)	市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組み、文化芸術活動が盛んになるための基盤をつくる。								

事業内容	<p>&lt;平成20年度&gt; 文化芸術振興基本条例の制定 ・平成19年度に引き続き明石市文化芸術振興基本条例検討委員会(学識経験者2名、団体関係者6人、公募市民2人)を4回開催。 ・市・条例検討委員会主催のシンポジウムを開催。 基調講演「文化振興条例制定の意義と課題 ～条例制定で何を変えるか?～」 シンポジウム「文化芸術による人づくり・まちづくり」参加者約100人 ・平成21年3月定例市議会において「明石文化芸術創生条例」が可決制定された。 明石文化芸術創生条例・・・平成21年4月1日施行。明石文化芸術創生会議規則・・・平成21年6月23日施行</p> <p>&lt;平成21年度&gt; 明石文化芸術創生条例に基づき、文化芸術の振興に関する基本計画の策定に向け創生会議等を設置 明石文化芸術創生会議(学識経験者2名、団体関係者6人、公募市民2人、計10人)を2回開催。 明石文化芸術創生会議基本計画部会(臨時委員:学識経験者1人、団体関係者8人、公募市民2人、計11人)を4回開催。このうち、第2回については、「次代を担う若い人たちによる文化芸術ワークショップ」を兼ねて開催。 ・文化芸術に関する明石市民アンケート調査を実施(市民3,000人を無作為抽出。有効回答数957人)。</p> <p>&lt;平成22年度&gt; 4月～ 基本計画部会及び創生会議で審議を継続 パブリックコメント等を実施 12月 生活文化常任委員会に基本計画(案)について中間報告 2月 創生会議から市長へ基本計画(案)について答申 3月 生活文化常任委員会に市の基本計画について報告</p>									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	1,653	8,100	9,753	0	0	0	9,753	0.49	0.00	0.00	0.00
21決算	1,915	5,400	7,315	0	0	0	7,315	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	2,579	4,410	6,989	0	0	0	6,989	0.00	0.00	0.00	0.49

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	報酬	文化芸術創生会議及び同会議基本計画部会委員報酬	731			
旅費	創生会議および基本計画部会委員出席旅費	47				
需用費	消耗品費、印刷製本費等	537				
役務費	文化芸術創生会議等音声反訳	215				
委託料	共同研究委託	1,000				
使用料及び賃借料	会議室使用料等	49				
					合計	2,579

整理番号	2005002	事務事業名	文化芸術振興基本計画策定等事業
------	---------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	(仮称)明石市文化芸術振興基本計画の策定					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	国において、平成13年に「文化芸術振興基本法」が制定され、地方公共団体の責務として「地方公共団体は国と連携を図りつつ、自主的かつ主体的にその地域の特性に応じた文化芸術に関する振興施策を策定し、実施することが規定されており、市が主体となつてする必要性が認められる。なお、文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。
	有効性	高い	平成21年3月定例会市議会において、文化芸術の振興に関する基本理念、基本施策などを規定した「明石文化芸術創生条例」が制定され、文化芸術の振興に向けての基盤が整備された。
	効率性	高い	神戸大学大学院研究室と共同研究委託契約を結び、研究機関の専門的な支援を得ながら、基本計画素案づくりを進めており、効率的な事業推進が図られている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	縮小	基本計画の策定から、計画の修正、計画に含まれる施策や事業の見直し、検討を行う事業へと変更する。
	手法の改善	軽微な改善	有効性、効率性ともに高いが、神戸大学大学院研究室との共同研究のあり方について、検討を図っていく必要がある。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
(仮称)明石市文化芸術振興基本計画(平成22年度末制定予定)に基づいて、計画の進捗管理を行う。また、施策や事業の妥当性を検討するとともに計画の修正も検討していく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
印刷製本費の削減	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	-500	0	0	0	-500
	増加見込②	0	0	0	0	0
	差引①+②	-500	0	0	0	-500

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	芸術祭等開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005003		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度		
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画	(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち							
	(節) 第5節 市民文化の高揚							
個別計画								

事業の目的	対象(誰を・何を)						
	市民						
意図(どういう状態にしたいのか)							
市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組むことができるよう文化芸術活動の機会を提供し、文化芸術活動を支援する。							

事業内容	文化芸術の振興を図るため、明石市芸術祭(邦舞・邦楽のつどい、明石っ子芸能カーニバル、音楽のつどい、いけばな展、茶会、吹奏楽祭、美術展)や明石現代作家展を開催し、市民の文化芸術活動の場及び機会を提供する。						
	<平成21年度> ① 市芸術祭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・明石っ子芸能カーニバル……10月18日(日) 市民会館大ホールで開催。</li> <li>・邦舞・邦楽のつどい…… 10月25日(日) 市民会館大ホールで開催。</li> <li>・音楽のつどい…… 11月3日(火・祝) 市民会館大ホールで開催。</li> <li>・茶会…… 11月3日(火・祝) 生涯学習センターで開催。</li> <li>・いけばな展…… 11月6日(金)～8日(日) 生涯学習センターで開催。</li> <li>・吹奏楽祭……11月14日(土)～15日(日) 市民会館大ホールで開催。</li> <li>・美術展……11月18日(水)～22日(日)、25日(水)～29日(日) 文化博物館で開催。</li> </ul> 来場者数延べ 10,128人。 ② 東播磨選抜美術展、東播磨コーラス大会(東播磨文化団体連合会事業)を本市で開催。						
<平成22年度> ① 市芸術祭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・明石ステージアート2010……10月24日(日) 市民会館大ホールで開催予定。</li> <li>・民謡・民舞と邦楽のつどい… 12月5日(日) 市民会館大ホールで開催予定。</li> <li>・いけばな展…… 11月5日(金)～11月7日(日) 生涯学習センターで開催予定。</li> <li>・音楽のつどい……11月3日(水・祝) 市民会館大ホールで開催予定。</li> <li>・吹奏楽祭……11月6日(土)～7日(日) 市民会館大ホールで開催予定。</li> <li>・美術展……11月17日(水)～21日(日)、24日(水)～28日(日) 文化博物館で開催予定。</li> </ul> ② 明石現代作家展……市美術展審査員・実行委員による作品展。 3月16日(水)～21日(月・祝) 文化博物館で開催予定。 ③ 東播磨大茶会(東播磨文化団体連合会事業)… 11月3日(水・祝) 生涯学習センターで開催予定。							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	6,432	8,100	14,532	0	0	235	14,297	0.68	0.00	0.00	0.00
21決算	5,700	7,200	12,900	0	0	226	12,674	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	6,600	7,200	13,800	0	0	200	13,600	0.40	0.00	0.00	1.08

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	委託料	開催委託	6,600			
					合計	

整理番号	2005003	事務事業名	芸術祭等開催事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
芸術祭をより充実させることによって市民の芸術にふれる機会をふやし、市民の生活に潤いをあたえている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。 ・芸術祭を開催することにより、各文化団体の日頃の活動の発表の場を提供することができるのと同時に参加や鑑賞をおこなうことで文化意識の向上をはかることができる。
	有効性	やや高い	個々の各事業の冠の中で開催することにより、市民の芸術についての関心を引き起こし、芸術にふれたり参加する機会を広げている。
	効率性	やや高い	各団体がかわる行事を芸術祭行事の一環として開催を重ねている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	現状どおり開催を実施するが、入館者数にあわせての会場変更も検討する。
	手法の改善	軽微な改善	・平成22年度に於いては、一部(明石ステージアート2010・邦舞邦楽のつどい)について舞台構成を変更するなど観客増員を目指して検討している。今年度の成果を基にさらに見直しをすすめる。 ・これまでも経費の削減をはかってきたが今後も経費削減の検討を続けている。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
今後とも市民の文化意識の向上と文化活動へのより多くの参加を図ると共に、最小の経費で効果的に開催できることをめざす。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

# 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	文芸祭開催事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005004		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計			事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費			連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度	
	目	文化振興・国際交流費			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
	事業	文化芸術振興事業			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
第4次長期総合計画		(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち						
		(節)	第5節 市民文化の高揚						
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)	市民の文芸に対する関心と認識を深め、創作意欲の向上や創作活動へのきっかけづくりを図るとともに、文芸作品の発表の機会を提供する。							

事業内容	<平成20年度> 源氏物語千年紀を記念し、例年の自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)に加えて、源氏物語に因んだ作品(同7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集を作成し広く市民に公表。 応募作品数 5,327点。								
	<平成21年度> 例年どおりの自由作品(同7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集を作成し広く市民に公表。 応募作品数 3,317点。								
	<平成22年度> 例年どおりの自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集を作成し広く市民に公表する。								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	1,634	4,950	6,584	0	0	470	6,114	0.40	0.00	0.00	0.00
21決算	1,630	4,950	6,580	0	0	441	6,139	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	1,940	3,600	5,540	0	0	415	5,125	0.00	0.00	0.00	0.40

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		旅費	事務協議	20		
	委託料	開催委託	1,920			
					合計	1,940

整理番号	2005004	事務事業名	文芸祭開催事業
------	---------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度
	応募件数	作品の応募件数(一般・ジュニア含む)	件	3,573	2,421	3,549
<b>指標で表せない成果</b>						
文芸祭の実施により、市民及び子供たちの文芸に対する関心と認識を深め文芸作品の市民の文化意識の一層の向上をはかる。一般については日頃の発表の場となる。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。 ・文化の息づくまちづくりの一環として文芸に対する関心を深め、創作活動のきっかけづくりとなっている。
	有効性	やや高い	・七つの部門の創作発表の場とすることで、文芸の関心を広め、新たな部門の創作活動のきっかけづくりとなっている。
	効率性	やや高い	平成22年度に会場使用料が増えた以外、3年間(平成20～22年)は同額とし、市内愛好家の協力を得ながら、安価で実施している。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	必要性が高く、当事業はおおむね現状どおりの規模で継続して行っていく。
	手法の改善	軽微な改善	より多くの作品応募の増加を図るため、小・中学校に応募締切り時期などの要望等を確認し改善をはかる。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
作品応募期間を検討するなど、より多くの市民に参加してもらえるように、改善に努めていく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	



## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	吹奏楽の夕べ開催事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005005		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 35 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)		
	市民		
意図(どういう状態にしたいのか)			
「音楽のあふれるまちづくり」の一環として、吹奏楽の演奏会を開催することにより、文化芸術の振興を図るとともに、市民にやすらぎと潤いのひとときを提供する。			

事業内容	<平成20年度>		
	市内の中・高並びに一般団体による吹奏楽演奏会を開催。 8月24日(日) 市民会館大ホールで開催。入場者数延べ 約3,000人。		
	<平成21年度>		
市内の中・高並びに一般団体による吹奏楽演奏会を開催。 8月23日(日) 市民会館大ホールで開催。入場者数延べ 約3,000人。			
<平成22年度>			
市内の中・高並びに一般団体による吹奏楽演奏会を開催。 8月22日(日) 市民会館大ホールで開催。入場者数延べ 約3,000人。			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	600	1,440	2,040	0	0	0	2,040	0.26	0.00	0.00	0.00
21決算	647	1,440	2,087	0	0	0	2,087	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	663	2,340	3,003	0	0	0	3,003	0.00	0.00	0.26	0.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		委託料	開催委託	663		
					合計	663

整理番号	2005005	事務事業名	吹奏楽の夕べ開催事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
昭和35年から継続開催し、今年で50回目を迎える本事業は、市民に音楽によるうるおいとやすらぎを与え、明石の夏の風物詩として定着している。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することと定めている。 市民、特に次代を担う子どもたちが文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、吹奏楽が盛んな土壌を継承し、さらに発展させていく事業を行う必要性は高い。
	有効性	高い	「音楽のあふれるまちづくり」の一環として、継続的に開催しており、本市の吹奏楽の普及、振興に大きな役割をもち、市民にやすらぎと潤いのひとときを提供する有効なものと認められる。
	効率性	高い	明石市吹奏楽連盟と事業の開催・運営の委託契約を結び、効率的な事業推進を図っている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	有効性・効率性ともに高く、当事業は概ね現状どおりの規模で行う必要がある。
	手法の改善	軽微な改善	より一層の効率的な運営を目指し、経費節減の見直しを図る。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
経費節減を図りつつ市民にうるおいとやすらぎを与える音楽のまちづくりの一環として継続実施する。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	街角イベント推進事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005006		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計			事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費			連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 15 年度	
	目	文化振興・国際交流費			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
	事業	文化芸術振興事業			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)								
	市民								
事業の目的	意図(どういう状態にしたいのか)								
	「音楽のあふれるまちづくり」を推進するため、音楽の活動をするグループや個人に発表の場を提供するとともに、賑わいのあるまちづくりに資する。								

事業内容	明石コミュニティー創造協会への委託により事業を実施している。								
	<平成20年度>								
	市民にやすらぎや憩いの場を提供するとともに、音楽による賑わいのあるまちづくりを図るため、「あかしふれあいコンサート」や「タコタコジャズフェスティバル」などの街角イベントを開催。また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。								
	① あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやマイカル明石2番街海の広場等で開催。 ② タコタコジャズフェスティバル2008……10月13日(月・祝) 明石公園等で開催。								
事業内容	<平成21年度>								
	同上。								
	① あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやマイカル明石2番街海の広場等で開催。 ② タコタコジャズフェスティバル2009……9月23日(水・祝) 生涯学習センターホールやアスピア明石アトリウムコート等で開催。 ③ まちかどミュージシャンスペシャルライブ……3月に明石駅周辺の各店舗などで、あかしまちかどミュージシャン出演の演奏会を開催し、メイン会場(銀座通り歩行者天国)であかしまちかどミュージシャン出演のイベントを開催。								
	<平成22年度>								
事業内容	市民にやすらぎや憩いの場を提供するとともに、音楽による賑わいのあるまちづくりを図るため、「あかしふれあいコンサート」や「タコタコジャズフェスティバル」などの街角イベントを開催。また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介する。								
	① あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやマイカル明石2番街海の広場等で開催する ② タコタコジャズフェスティバル2010……10月に魚の棚商店街内などで開催する(予定)。 ③ まちかどミュージシャンスペシャルライブ……3月にあかしまちかどミュージシャン出演の演奏会を開催し、メイン会場であかしまちかどミュージシャン出演のイベントを開催する(予定)。								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	1,518	990	2,508	0	0	0	2,508	0.01	0.00	0.00	0.00
21決算	1,940	990	2,930	0	0	0	2,930	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	2,000	90	2,090	0	0	0	2,090	0.00	0.00	0.01	0.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		委託料	開催委託	2,000		
					合計	2,000

整理番号	2005006	事務事業名	街角イベント推進事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
数値にははかせないが、音楽イベントを積み重ねて音楽のあふれるまちづくりを推進している。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。 ・市民生活に密着した場所でのコンサートは、賑わいのあるまちづくりに資する。
	有効性	やや高い	市民生活に密着した場所で気軽に楽しめるコンサートを提供している。
	効率性	やや高い	出演者がボランティアで協力をしていただいている部分が多く安価で実施している。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	演奏会規模やイベント内容・回数は、毎年、共催や開催開場などによって変わるが、開催内容、各方面との調整を図りながら現状どおり実施する。
	手法の改善	維持	今までの実績を活かしながら関係者との連携を深め、より効果的に実施していく。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
明石吹奏楽連盟などの学校関係機関や、民間の音楽実施団体との連携を深めてより一層効果的にすすめていきたい。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演			新規/継続	継続事業	整理番号	2005007		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計							
	款	総務費			事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	文化芸術振興事業			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)								
	市民								
意図(どういう状態にしたいのか)									
「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進し、市民に質の高い音楽の観賞機会を提供する。									

事業内容	<平成20年度> 世界的な指揮者の佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演と、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 1月12日(月・祝) 市民会館大ホールで公演。同日に大観小学校で訪問指導。								
	<平成21年度> 世界的な指揮者の佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演と、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 9月16日(水) 市民会館大ホールで公演。同日に藤江小学校で訪問指導。								
	<平成22年度> 世界的な指揮者の佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演と、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 1月15日(土) 市民会館大ホールで公演(予定)。								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	5,840	3,060	8,900	0	0	3,932	4,968	0.36	0.00	0.00	0.00
21決算	6,821	2,880	9,701	0	0	2,832	6,869	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	7,425	3,240	10,665	0	0	3,292	7,373	0.00	0.00	0.36	0.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	パンフレット執筆謝礼等	60		
	需用費	印刷製本費等	400			
	役務費	舞台・照明など人件費等	565			
	委託料	公演委託等	6,000			
	使用料及び賃借料	市民会館使用料等	400			
					合計	7,425

整理番号	2005007	事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演
------	---------	-------	------------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
平成14年度から世界的な指揮者・佐渡裕氏による質の高い音楽を鑑賞する機会を市民に提供し続けている。佐渡氏は音楽により、明石を元気づけようとしたのがきっかけで、明石に特別な思いを持って下さっており、明石市と佐渡氏とのつながりはしっかりと形成されてきている。また、小学校で特別授業を行うアウトリーチ活動も、子どもたちや教師に好評を得ており、子どもたちが音楽に親しみ、楽しむきっかけづくりにもなっている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することと定めている。 市民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供し、「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進していくために、世界的な指揮者である佐渡裕氏による音楽会を市が実施する必要性は高い。
	有効性	高い	市民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供し、小学校へのアウトリーチ活動も行うなど、「音楽のあふれるまちづくり」に資する効果は非常に高いものと思われる。
	効率性	高い	一流の指揮者による質の高い音楽会の開催だけでなく、子どもたちへのアウトリーチも行うなど効率的な事業と認められる。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	引き続き現状の規模で実施する。
	手法の改善	軽微な改善	より多くの市民が鑑賞会に参加しやすいよう、土日、休日に開催するよう努力していく。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
今後も、子どもたちが一流の音楽にふれ親しむ機会としてアウトリーチ活動を継続して行っていく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	子ども・親子対象音楽事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005008		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民(子どもとその親)							
	意図(どういう状態にしたいのか)	音楽のまちづくりの一環として、次代を担う子どもたちに質の高い音楽を提供する。							

事業内容	<平成20年度>	市内の親子を対象に、プロの音楽家による演奏会を開催。 9月27日(土)「音楽のレストラン(ワークショップとコンサート)」を西部市民会館で開催。							
	<平成21年度>	市内の親子を対象に、プロの音楽家による演奏会を開催。 10月11日(日)「アンサンブル・ラロ親子コンサート及びマチネ(一般対象)コンサート」を西部市民会館で開催。							
	<平成22年度>	市内の親子を対象に、プロの音楽家による演奏会を開催。 9月23日(木・祝)「ガラン・ピー・ポロン音楽会」を西部市民会館で開催。							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	1,649	1,890	3,539	0	0	148	3,391	0.10	0.00	0.00	0.00
21決算	1,927	1,980	3,907	0	0	165	3,742	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	1,844	900	2,744	0	0	410	2,334	0.00	0.00	0.10	0.10

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	託児謝礼	10		
	需用費	印刷製本費等	113			
	役務費	舞台・照明など人件費等	131			
	委託料	公演委託	1,350			
	使用料及び賃借料	西部市民会館使用料等	240			
					合計	1,844

整理番号	2005008	事務事業名	子ども・親子対象音楽事業
------	---------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	入場者	音楽会参加人数		人	148	186
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。 ・次代を担う子どもの情操教育の一環として効果的である。 ・将来の明石のまちに音楽をはじめとする文化や芸術に親しむ人が増加することを目指し、うるおいと安らぎのあるまちづくりの一助とする。
	有効性	やや高い	・親子で質の高い音楽に気軽にふれる機会を提供するとともに、子どもとのコミュニケーションをふやす機会の提供となっている。
	効率性	やや高い	・チラシデザイン、チケット作成について手作りで行うなど、安価で質の高い音楽会の開催を重ねている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	西部市民会館を妥当な規模と考え開催を重ねていく。
	手法の改善	維持	参加者を増やせるよう、PR等の検討をかさねていく。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

**今後の事業展開方針**

次代を担う子ども達が気軽に音楽に親しむ事業として、特に子育て世代の多い西部地域で、実施する意義は大きく、西部市民会館での事業として定着させていく。今後、より多くの親子に参加していただけるように、チケットの値段設定や広報手段等について検討していく。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	



## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化芸術子どもクラブ開催事業			新規/継続	新規事業	整理番号	2005009		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち							
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)		
	子ども		
意図(どういう状態にしたいのか)			
次代を担う子どもたちが文化芸術に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育むことを目的とする。			

事業内容	<平成22年度> 邦楽、邦舞、美術、生活文化、ダンス等の対象分野の文化芸術子どもクラブの開催について、上限を定め助成を行う。 参加対象者:小学生から高校生まで(原則) 対象団体: 社団、財団、NPO法人など ※ 年度内に10人以上の参加者で10回以上の活動を市内の公的施設で開催することを原則とする。		

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他	
20決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.34	0.00	0.00	0.00
21決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	2,500	3,060	5,560	0	0	0	5,560	0.00	0.00	0.34	0.00	0.34

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	開催事業補助金	2,500		
					合計	2,500

整理番号	2005009	事務事業名	文化芸術こどもクラブ開催事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	子どもの参加人数	こどもクラブに参加申込みした人数	人	-	-	100
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することと定めている。 ・次代を担う子どもたちが文化芸術に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育むためには、感受性の豊かなこどもの頃から文化芸術に親しむ機会や環境を整える必要性が高く、市が主体となって実施する意義は大きいものと考えられる。
	有効性	やや高い	・この事業は、国の伝統文化こども教室の助成制度に比べて、対象範囲が広いこと、一部、補助金の前払いが出来るなど実施する団体が利用しやすい制度となっており、子どもたちが文化芸術を体験し親しむ機会を拡充するために、有効なもの認められる。 ・子どもたちへの参加募集の周知方法など検討していく必要がある。
	効率性	やや高い	国の伝統文化こども教室の助成制度に比べて、補助金の上限を低く設定しているにもかかわらず、各団体は密度の高い事業を企画運営しており効率的な事業と認められる。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	必要性の高さから来年度も今年度と同等の事業規模を維持すべきである。
	手法の改善	軽微な改善	新規事業であるため、平成22年度の事業内容や手法を検証し、必要に応じて改善していく必要がある。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

**今後の事業展開方針**

今年度の反省点と文化芸術創生会議の意見を踏まえた上で、これまで生徒募集から事業の実施までを団体に依頼しその経費を団体に対して補助金として支出していた方法を市が募集をかけ教室の開催を各団体に委託していくという方法に改めていく。  
なお、国の伝統文化こども教室助成制度が平成23年度で廃止となる見込みであり、その後、当事業への必要性、重要性が増大していく見込みである。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	説明会とプレゼンテーション選考会にかかる報償費、使用料の増	対22年度当初予算比	合計	財源内訳		
国・県支出金				地方債	その他特定財源	
削減見込①	0	0	0	0	0	0
増加見込②	56	0	0	0	0	56
差引①+②	56	0	0	0	0	56

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	自動演奏ピアノ運用・美術品展示事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005010		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち							
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)		
	市民		
意図(どういう状態にしたいのか)			
市役所に音楽を取り入れ、市民にピアノ演奏の発表の場とやすらぎのひとつを提供する。また、美術品を展示することにより、市民に芸術にふれ、親しむ機会を提供する。			

事業内容	<平成20年度>		
	ピアノの自動演奏のほか、平日の昼休み(不定期)に市役所2階ロビーに置いているピアノを活用し、市民に演奏の機会を提供。また、美術展の優秀作品を展示し、市役所を訪れる市民に鑑賞する機会を提供。 ランチタイムミュージック・・・53回開催。		
	<平成21年度>		
	ピアノの自動演奏及びピアノ演奏については、定額給付金事務等のため4月から11月まで休止していたが、12月より再開。また、美術品を展示し、市役所を訪れる市民に鑑賞する機会を提供。 ランチタイムミュージック・・・19回		
<平成22年度>			
ピアノの自動演奏のほか、平日の昼休み(不定期)に市役所2階ロビーに置いているピアノを活用し、市民に演奏の機会を提供する。また、美術展の優秀作品を展示し、市役所を訪れる市民に鑑賞する機会を提供する。			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	15	990	1,005	0	0	0	1,005	0.04	0.00	0.00	0.00
21決算	32	450	482	0	0	0	482	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	188	360	548	0	0	0	548	0.00	0.00	0.00	0.04

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	コンサート出演者謝礼	100		
	役務費	ピアノ調律料等	88			
					合計	188

整理番号	2005010	事務事業名	自動演奏ピアノ運用・美術品展示事業
------	---------	-------	-------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	実施回数	自動演奏ピアノ運用回数(ランチタイムミュージック開催回数)	回	53	19	20
指標で表せない成果						

事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。</li> <li>・自動ピアノを単に配置するだけでなく“ランチタイムミュージック”を実施することによりし、一般市民の利用によって音楽の溢れるまちづくりの一環として市民にうらおいと安らぎを与えている。</li> <li>・美術展展示については、市民が多く訪れる市役所フロアで美術鑑賞の機会を提供している。</li> </ul>
	有効性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民に開放しており、市内だけでなく市外及び県外からピアノを使用したいとの申し出もあり、ピアノ演奏の発表の場が増えると共にうらおいと安らぎを提供している。</li> <li>・美術品についても、明石市美術展の優秀作品を展示しており、芸術に親しむ機会を提供している。</li> </ul>
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業については、実質年2回の調律であり費用をかけないで運用を続けている。</li> <li>・美術作品を無料で提供してもらっている。</li> </ul>
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	現状のままで運用を続ける。
	手法の改善	維持	現状のままで運用を続ける。

#### 今後の事業展開方針

演奏の音で相談室の業務がやりづらいとの声もあり、運用について、調整をはかりながら実施する。ただし、公共の場において市民が無料でピアノを演奏出来るこの事業は、市民にとっても貴重なものであり、今後も「市役所でピアノを演奏したい。」という多くの市民の要望に応えていきたい。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)

23年度予算事業費増減見込(千円)

	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
削減見込①	0	0	0	0	0	0
増加見込②	0	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	0

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民交響楽団支援事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005011	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち						
	(節)	第5節 市民文化の高揚						
個別計画								

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民						
	意図(どういう状態にしたいのか)	音楽文化のすそ野の拡大と質の向上を図るため、市民力を活用したアマチュアの市民交響楽団の運営に対する支援を行い、「音楽のあふれるまちづくり」を一層推進する。						

事業内容	<平成20年度> 市民交響楽団を運営している(財)明石コミュニティー創造協会へ補助するとともに、特別演奏会及び定期演奏会の開催を委託。活動状況……特別演奏会 1回、定期演奏会 2回、アウトリーチ活動 18回							
	<平成21年度> 市民交響楽団を運営している(財)明石コミュニティー創造協会へ補助するとともに、特別演奏会及び定期演奏会の開催を委託。また、6月に明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラを創設。 7月5日(日) スウェーデンのヴァイオリニストを迎え特別演奏会を市民会館大ホールで開催。 9月6日(日) 第6回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 11月1日(日) 市制施行90周年記念式典の祝賀演奏会で演奏。 12月20日(日) 第27回明石第九演奏会で演奏。また、明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラが同演奏会でデビュー。 3月28日(日) 第7回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動18回							
	<平成22年度> 市民交響楽団を運営している(財)明石コミュニティー創造協会へ補助するとともに、定期演奏会の開催を委託する。 7月11日(日) 明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラ演奏会を西部市民会館ホールで開催。 9月12日(日) 第8回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 3月22日(日) 第9回定期演奏会を市民会館大ホールで開催(予定)。							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	0.11	アルバイト	0.00
20決算	8,500	990	9,490	0	0	918	8,572	再任用	0.00	その他	0.00
21決算	8,300	990	9,290	0	0	0	9,290	臨時	0.00	合計	0.11
22当初予算	7,000	990	7,990	0	0	0	7,990				

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		委託料	演奏会委託	3,000		
	負担金補助及び交付金	運営補助	4,000			
					合計	7,000

整理番号	2005011	事務事業名	市民交響楽団支援事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
市民交響楽団、ジュニア・オーケストラの設立により、市民が芸術文化にふれ親しむ機会が拡充している。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することと定めており、市民が音楽に親しむ機会を提供し、「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進していくために、市が実施する必要性は高い。しかしながら、将来的には運営面においては、楽団が主体的に運営していく必要がある。
	有効性	高い	市民交響楽団設立・ジュニアオーケストラの設立により、音楽文化のすそ野の拡大、市民の文化芸術活動の鑑賞機会の拡充が図られ、「音楽のあふれるまちづくり」に資する効果は高いものと考えられる。
	効率性	高い	補助金を段階的に削減しているものの、演奏会の開催の他にジュニアオーケストラを設立・運営するなど効率性は高いものと認められる。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	引き続き、効率的な運営を実施する。
	手法の改善	軽微な改善	市民交響楽団の主体的な運営となるよう運営のあり方を検討していく必要がある。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
今後も財政面を主として支えていく。ただし、運営については、主体的に運営していくよう楽団に対して促していく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石将棋フェスティバル開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005012		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画		(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち						
		(節)	第5節 市民文化の高揚						
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民		
	意図(どういう状態にしたいのか)	伝統文化である将棋に親しむとともに、豊かな人間性を身につける機会を提供する。		

事業内容	<平成20年度>	小・中学生を対象とする子ども将棋大会や指導対局、大盤解説、講演会等を開催。 1月25日(日)生涯学習センターで開催。
	<平成21年度>	小・中学生を対象とする子ども将棋大会や指導対局、大盤解説、講演会等を開催。 1月31日(日)生涯学習センターで開催。
	<平成22年度>	小・中学生を対象とする子ども将棋大会や指導対局、大盤解説、講演会等を開催。 2月6日(日)生涯学習センターで開催予定。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	1,358	1,890	3,248	0	0	0	3,248	0.33	0.00	0.00	0.00
21決算	1,172	2,970	4,142	0	0	0	4,142	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	1,171	2,970	4,141	0	0	0	4,141	0.00	0.00	0.00	0.33

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		役務費	ホール舞台人件費	71		
	委託料	開催委託	1,100			
					合計	1,171

整理番号	2005012	事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業
------	---------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	参加申込み	参加申込み人数		人	408	315
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。 ・将棋を通じ、社会の基本的ルールや思いやり、礼儀を学び、次代を担う子どもの育成であるとともに伝統文化にふれる機会を提供している。
	有効性	やや高い	プログラム内容が豊富で将棋を始めてまもない子どもから将棋に詳しい大人まで楽しめるプログラム内容が豊富で市民が将棋に親しむ機会を提供している。
	効率性	やや高い	豊富なプログラムを将棋連盟と連携・協力をはかりながら安価で開催を重ねている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	小学生の参加者が毎年定員を上回っており、継続を実施する。
	手法の改善	維持	現状を維持する。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

**今後の事業展開方針**

将棋を通じて子ども達に社会の基本的ルールや思いやり、礼儀などを学んでもらうとともに、幅広い世代に将棋に親しんでもらえるようプログラム内容の充実を図っていく。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	



## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石の春を詠む会吟行俳句会開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005013		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期 総合計画		(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち						
		(節)	第5節 市民文化の高揚						
個別計画									

事業の 目的	対象(誰を・何を)		市民					
	意図(どういう状態にしたいのか)		明石のまちの賑わいと俳句に親しむ機会を提供する。					

事業 内容	<平成20年度> 春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月7日(土) 生涯学習センターホールで開催。							
	<平成21年度> 春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月6日(土) 生涯学習センターホールで開催。							
	<平成22年度> 春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月 市民会館中ホールで開催(予定)。							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	578	2,340	2,918	0	0	0	2,918	0.40	0.00	0.00	0.00
21決算	483	1,890	2,373	0	0	0	2,373	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	495	3,600	4,095	0	0	0	4,095	0.00	0.00	0.00	0.40

22年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		委託料	開催委託	400		
	使用料及び賃借料	市民会館使用料	95			
					合計	495

整理番号	2005013	事務事業名	明石の春を詠む会吟行俳句会開催事業
------	---------	-------	-------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	参加人数	参加申込み人数		人	395	441
<b>指標で表せない成果</b>						
各俳誌の代表者が出席し、あわせて各代表の作品の披露、さらに参加作品の講評を直接聞くことができるこの事業は市内の愛好者はもちろんのこと、市外からの参加者も多い。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。 ・市民に文化に親しむ機会を提供する。 ・文化の振興を図ると共に春句祭に合わせて開催しており、まちのにぎわいづくりにつながっている。
	有効性	やや高い	・明石の風景や歴史をうたに詠むことで、市民が明石のまちの良さを再認識するとともに、市外にも明石のまちを広く発信している。
	効率性	やや高い	各俳誌の代表者、及び地元の愛好者の連携・協力により、安価な費用で開催している。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	毎年の応募者の増加に伴い、平成22年度は会場を生涯学習センターから市民会館中ホールに変えて実施し、さらに事業の充実を図っていく。
	手法の改善	維持	引き続き、各俳誌の代表者、及び地元の愛好者との連携を続け効果的に事業の実施をかさねていく。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

**今後の事業展開方針**

平成18年度から毎年たくさんの応募がある事業のため、平成22年度からは会場を生涯学習センターから明石市民会館へ移し、より多くの市民が参加出来るよう改善した。今後とも、市内外からたくさんの方に参加していただけるよう工夫を重ね、中心市街地活性化や、まちのにぎわいづくりにもつなげていく。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	中崎寄席開催事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005014		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 2 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民		
	意図(どういう状態にしたいのか)	市民にやすらぎのひとつを提供するとともに、芸能の振興を図る。		

事業内容	<平成20年度> 歴史と風格のある中崎公会堂で、市民に寄席の鑑賞機会を提供。 10月13日(月・祝)に開催。
	<平成21年度> 歴史と風格のある中崎公会堂で、市民に寄席の鑑賞機会を提供。 10月4日(日)に開催。
	<平成22年度> 歴史と風格のある中崎公会堂で、市民に寄席の鑑賞機会を提供。 10月16日(土)に開催(予定)。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	1,486	2,340	3,826	0	0	925	2,901	0.15	0.00	0.00	0.00
21決算	1,508	1,890	3,398	0	0	936	2,462	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	1,667	1,350	3,017	0	0	878	2,139	0.00	0.00	0.15	0.15

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		需用費	消耗品費等	230		
	役務費	大道具など人件費等	174			
	委託料	出演委託	1,200			
	使用料及び賃借料	付属設備使用料等	63			
					合計	1,667

整理番号	2005014	事務事業名	中崎寄席開催事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
平成2年から実施している事業で、歴史ある「中崎公会堂」での落語会の開催は毎年好評を博している。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。 ・落語という身近な古典芸能を通じて市民に生活にうるおいと安らぎを提供することが出来る。
	有効性	高い	百年の歴史ある市内最古の公共会場での開催と落語家 笑福亭鶴瓶 をメインに迎えてのこの行事は市民に古典芸能にふれる機会として定着している。
	効率性	高い	安価な金額で人気の落語家を迎え、開催を重ねている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	市民が古典芸能にふれる機会であり、まちのにぎわいづくりにつながるこの行事は出演者の理解と協力をもとめながら開催を重ねていきたい。
	手法の改善	維持	現状を維持していく。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

**今後の事業展開方針**

歴史ある中崎公会堂での落語会は今年で21回目を迎え、入場チケットもすぐに完売するなど大変好評で、市民の間に定着しているイベントである。今後も、市民が古典芸能に親しむ機会として継続していく。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名 明石薪能開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005015	
		分割/統合				
		事業の分割/統合の内容				
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課		
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607		
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 1 年度
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
	事業	文化芸術振興事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		
第4次長期 総合計画		(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち				
		(節) 第5節 市民文化の高揚				
個別計画						

事業の 目的	対象(誰を・何を)	
	市民	
意図(どういう状態にしたいのか)		
伝統文化に親しむ機会を提供する。		

事業 内容	<平成20年度> 源氏物語千年紀、明石海峡大橋開通10周年を記念して、第11回明石薪能を開催。 9月13日(土) 大蔵海岸で開催。入場者数 約1,600人。
	<平成21年度> 明石市制90周年を記念して、第12回明石薪能を開催。 10月9日(金) 明石公園で開催。入場者数 約1,200人。
	<平成22年度> 第13回明石薪能を明石公園で開催する。 10月1日に開催(予定)。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	2,000	5,850	7,850	0	0	0	7,850	0.74	0.00	0.00	0.00
21決算	2,000	5,700	7,700	0	0	0	7,700	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	5,000	7,470	12,470	0	0	0	12,470	0.30	0.00	0.00	1.04

22年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	開催事業補助金	5,000		
					合計	5,000

整理番号	2005015	事務事業名	明石薪能開催事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	伝統芸能を継承し、今に伝える鑑賞会として定着してきている。また、薪能の開催後、同じ能舞台を利用して伝統芸能や音楽イベントを開催し、市民が芸術文化に親しむ機会を提供できている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することと定めている。 ・伝統芸能を守り次代へと継承していくことは市の責務であり、市が主体的に実施する意義が大きいものと考えられる。
	有効性	やや高い	明石公園内屋外組み立て式能舞台による薪能は、幽玄な世界を醸しだし風情のある伝統芸能を今に伝えるイベントとして定着しつつある。
	効率性	低い	必要性、有効性ともにやや高い事業であるが、舞台は常設できないため、毎回組み立て撤去に多額の経費がかかっている。また、事務局を市が担っているため、開催にかかる諸準備等、事務量が多く、事業費・人件費ともに効率性が低い。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	
	手法の改善	軽微な改善	チケットの販売方法や協賛金の募り方等を検討し、収入を確保することによって安定した継続開催が行えるよう改善を図っていく。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
幽玄な雰囲気の中で、市民が質の高い伝統芸能を鑑賞する本市の秋の代表イベントとして定着するよう継続していく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		23年度予算事業費増減見込(千円)						
		対22年度 当初予算比	合計	財源内訳				
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	
				削減見込①	0	0	0	0
				増加見込②	0	0	0	0
			差引①+②	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		歌舞伎鑑賞教室開催事業		新規/継続	新規事業	整理番号	2005016		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画		(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち						
		(節)	第5節 市民文化の高揚						
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)		
	高校生等		
意図(どういう状態にしたいのか)			
次代を担う若者に優れた伝統芸能の鑑賞機会を提供する。			

事業内容	<平成22年度> 歌舞伎鑑賞教室を開催する。 7月15日(木) 市民会館大ホールで開催。		

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他	
20決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.35	0.00	0.00	0.00
21決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	2,874	3,150	6,024	0	0	450	5,574	0.00	0.00	0.35	0.00	0.35

22年度当初予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		需用費	演者等ケータリング	20		
	役務費	舞台・照明など人件費等	253			
	委託料	公演委託等	2,400			
	使用料及び賃借料	市民会館使用料	201			
					合計	2,874

整理番号	2005016	事務事業名	歌舞伎鑑賞教室開催事業
------	---------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度
	参加人数	鑑賞した人数		人	0	0
<b>指標で表せない成果</b>						
「歌舞伎へのご案内コーナー」での解説は初めて鑑賞する者にとっても大変わかりやすく、歌舞伎への関心を深めることができ、歌舞伎体験コーナーで直接歌舞伎にふれることに古典芸能の理解を深めることができた。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することを明示している。 ・古典芸能の鑑賞機会を提供するとともに生活にうるおいとゆとりを提供する。 ・情操教育の一環として次代を担う子ども達の育成に資する。
	有効性	やや高い	次代を担う子どもたちの育成を図ると共に質の高い歌舞伎を安価な金額で鑑賞できる機会を提供している。
	効率性	やや高い	安価な金額で質の高い歌舞伎の開催を実施している。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	平成22年度の実施状況を検証し、開催を重ねていく。
	手法の改善	軽微な改善	平成22年度は、明石市立商業高校の歌舞伎鑑賞教室として開催したが、平成23年度は一般市民を対象に開催する。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
来年度は、一般市民を対象として、古典芸能にふれる機会を提供していく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	



## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	サハとの音楽交流事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005017		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち							
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)	「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進し、市民に質の高い音楽の観賞機会等を提供する。							

事業内容	<平成20年度>	外国との音楽交流を実施。 9月26日(金)「明石&ヤクーツク～音楽のかけ橋 やさしさの贈り物～」コンサートを生涯学習センターホールで開催。							
	<平成21年度>	同上。 7月4日(土) スウェーデンの音楽療法とミニコンサートを生涯学習センターホールで開催。 8月22日(土)「親子で創る明石&ヤクーツク～音楽のかけ橋～」コンサートを生涯学習センターホールで開催。							
<平成22年度>	ロシア連邦サハ共和国のサハ高等音楽院からの友好訪問団による音楽交流事業を実施する。 時期:未定。 内容:市内中学校への音楽指導など。								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	101	270	371	0	0	0	371	0.03	0.00	0.00	0.00
21決算	591	270	861	0	0	0	861	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	303	270	573	0	0	0	573	0.00	0.00	0.00	0.03

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	報償費		音楽クリニック謝礼等	100		
需用費		印刷製本費等	66			
役務費		舞台・照明など人件費等	37			
使用料及び賃借料		生涯学習センター使用料	100			
					合計	303

整理番号	2005017	事務事業名	サハとの音楽交流事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	レベルの高い海外の音楽家を招へいし、市民に質の高い音楽を鑑賞する機会を提供できている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	明石文化芸術創生条例において、市は、文化芸術の振興に関する施策を総合的に策定し、実施することと定めており、市民が音楽に親しむ機会を提供し、「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進していくために、市が実施する必要性は高い。また、市とヤクーツク歌劇場及びサハ高等音楽院は音楽による連携協力の覚書をかかわっている。
	有効性	やや高い	市民に海外の優れた音楽にふれる機会を提供する効果的な事業である。
	効率性	やや高い	海外から音楽家を招へいし、市民に鑑賞機会を提供する事業としては、必要最低限の予算で行い、効率性は高いものと思われる。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	
	手法の改善	維持	
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針						
市とヤクーツク歌劇場及びサハ高等音楽院の音楽による連携協力の覚書に基づき、音楽家を招へいするなど音楽交流を継続していく。						

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)			23年度予算事業費増減見込(千円)			
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		東播磨文化団体連合会との共催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005018		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
	事業	文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期 総合計画		(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち						
		(節)	第5節 市民文化の高揚						
個別計画									

事業の 目的	対象(誰を・何を)							
	市民							
意図(どういう状態にしたいのか)								
東・北播磨地域の文化芸術活動の発表と交流の機会を提供するとともに、団体相互の研鑽と育成を図る。また、地域住民に文化芸術に親しむ機会を提供する。								

事業内容	<平成21年度> 東播磨文化団体連合会事業の一環として、東はりまコーラス大会並びに東播磨選抜美術展を開催。 ① 東はりまコーラス大会……8月29日(日) 市民会館大ホールで開催。 ② 東播磨選抜美術展……3月12日(金)～14日(日) 文化博物館ギャラリーで開催。							
	<平成22年度> 東播磨文化団体連合会事業の一環として、東はりまみんよう大会並びに東播磨大茶会を開催する。 ① 東はりまみんよう大会……9月5日(日) 市民会館大ホールで開催。 ② 東播磨大茶会……11月3日(水・祝) 生涯学習センターで開催(予定)。							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他	
20決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.10	0.00	0.00	0.00
21決算	487	1,800	2,287	0	0	0	2,287	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	700	900	1,600	0	0	0	1,600	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00

22年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	共催事業負担金	700		
					合計	700

整理番号	2005018	事務事業名	東播磨文化団体連合会との共催事業		
------	---------	-------	------------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	東播磨の文化団体の交流活動の発表及び交流の場となっている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	東播磨・北播磨地域の交流をはかるとともに、発表や鑑賞を通じて互いの研鑽を図るため
	有効性	やや高い	開催事業を持ちまわりで行うことで開催地の活性をはかるとともに、地域住民の文化への関心を高めている。
	効率性	やや高い	各市町が開催することで東播磨文化団体に関わる文化芸術活動の理解を深める
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	休廃止	来年度、本市において開催予定なし。
	手法の改善	休廃止	来年度、本市において開催予定なし。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

**今後の事業展開方針**

平成22年度の東播磨文化団体連合会各実行委員会に於いて今後スムーズに開催出来るよう開催実施市町の理解と承認がなされた。平成23年度に於いて明石市での開催事業はなく他市町での開催事業の協力を行う。ただし、お茶、いけばななど7事業は8市3町の持ち回り開催のため、3年後には改めて新規事業として予算を計上する必要がある。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		23年度予算事業費増減見込(千円)					
平成23年度の開催事業が無いいため費用削減する。		対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
		削減見込①	-700	0	0	0	-700
		増加見込②	0	0	0	0	0
		差引①+②	-700	0	0	0	-700

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		姉妹都市交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005019		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	姉妹都市提携				
	事業	姉妹都市交流事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画		(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にするまち						
		(節)	第5節 国際交流の推進						
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)		市民、アメリカ合衆国バレホ市民									
	意図(どういう状態にしたいのか)		市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、バレホ市と必要な連絡調整を行う。									
事業内容	平成20年度		市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。									
	平成21年度		市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。									
	平成22年度見込み		市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。									

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	137	900	1,037	0	0	0	1,037	0.05	0.00	0.00	0.00
21決算	39	1,800	1,839	0	0	0	1,839	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	141	450	591	0	0	0	591	0.00	0.00	0.00	0.05

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼	40		
	役務費	文書翻訳料	101			
					合計	141

整理番号	2005019	事務事業名	姉妹都市交流推進事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	パレホ市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・市民の国際交流についての理解を深め、多文化共生を推進する取り組みは、グローバル社会を迎えた現代において、行政に求められる施策の一つである。中でもパレホ市との交流は姉妹都市提携から40年を超え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 ・交流の主役は市民であるが、姉妹都市提携はお互いの市と市が締結したものであることから、市として事業を実施する必要がある。
	有効性	やや高い	・長きにわたる交流の成果として両市は良好な関係を構築している。 ・毎年、何らかの形で市民同士が交流できるよう、パレホ市側と調整している。
	効率性	やや高い	・事業の実施にあたっては、市だけで実施するのではなく、明石姉妹都市協会等の市民団体との協働により進めている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	姉妹都市パレホとの連絡調整を行う上で必要最小限の予算額であり、現在の規模で継続する。
	手法の改善	維持	姉妹都市パレホとの連絡調整を行う上で必要最小限の予算額であり、現在の手法を継続する。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針						
現状通り進めていく。						

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)			23年度予算事業費増減見込(千円)						
		対22年度 当初予算比	合計	財源内訳					
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源		
				削減見込①	0	0	0	0	0
				増加見込②	0	0	0	0	0
		差引①+②	0	0	0	0	0		

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石市青少年派遣事業			新規/継続	新規事業	整理番号	2005020		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	姉妹都市提携				
	事業	姉妹都市交流事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画	(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にするまち							
	(節)	第5節 国際交流の推進							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)							
	明石市内在住・在学の中学・高校生 アメリカ合衆国バレホ市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
バレホ市へ青少年を派遣し、ホームステイなどの異文化体験を通じて国際感覚豊かな人材を育成するとともに、両市の友好親善の一層の促進を図る。								

事業内容	平成22年度見込み(新規事業)							
	○派遣人数:18人 ○対象:市内在住、在学の中学・高校生 ○時期:7月29日～8月4日(5泊7日。うちホームステイ4泊) ○費用負担等:参加する青少年は実費を負担 ○内容:バレホでのホームステイ体験、異文化体験、現地青少年との交流事業							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他		
20決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.78	0.00	0.00	0.00
21決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	1,630	7,020	8,650	0	0	0	8,650	0.00	0.00	0.00	0.78	0.00	0.78

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		旅費	訪米旅費(随行分)	1,200		
	役務費	海外専用携帯電話通話料	30			
	委託料	派遣事業委託	400			
					合計	1,630

整理番号	2005020	事務事業名	明石市青少年派遣事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	青少年親善訪米団への応募人数	事業への理解が深まり評価が高まることにより、応募人数が増えると考えられる。	人	—	—	18人
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解を深める。</li> <li>・将来の明石市の国際交流を担うことのできる人材の育成を図る。</li> </ul>						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・市民の国際交流についての理解を深め、多文化共生を推進する取り組みは、グローバル社会を迎えた現代において、行政に求められる施策の一つである。中でもバレホ市との交流は姉妹都市提携から40年を超え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を今後さらに発展させていく必要がある。 ・ホームステイ交流事業は広く民間でも実施されているが、より安価で安全で安心できるものを市民に提供できることから、市が実施する意義は大きい。
	有効性	やや高い	・両市市民の相互理解を深める方法としてホームステイは最も適しており、効果的な手法である。 ・平成22年度新規事業であるため、成果についてはこれから検証していく。
	効率性	やや高い	・青少年訪米団については参加費の補助をおこなっておらず、最小限の経費で派遣事業を実施しようとしている。 ・事業全体の経費については、実施後に検証する必要がある。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・バレホ市の受け入れ態勢等の状況を考慮すると、派遣人数は現在の規模が適正である。 ・派遣期間や引率者数等については、平成22年度の実施を踏まえて検討する。
	手法の改善	軽微な改善	新規事業であるため、平成22年度の実施後に効果等を検証し、必要に応じて募集方法や対象者の範囲、事前・事後の研修のあり方など手法の改善を進める。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
新規事業であるため、事業実施後に検証を行い必要に応じ改善していく。	

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）						
	参加者の負担軽減を図るため、現地での移動費用等、派遣にかかる費用の一部を市で負担する。 @30,000×18人=540,000円	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			一般財源
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	
	削減見込①	0	0	0	0	0	
	増加見込②	540	0	0	0	540	
差引①+②	540	0	0	0	540		



## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	友好都市交流推進事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005021		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計			事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費			連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	目	文化振興・国際交流費			根拠法令・要綱等	友好都市提携			
	事業	友好都市交流事業			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
第4次長期総合計画	(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にするまち							
	(節)	第5節 国際交流の推進							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民、中国無錫市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)	市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、無錫市と必要な連絡調整を行う。							

事業内容	平成20年度	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。							
	平成21年度	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。							
	平成22年度見込み	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	再任用	アルバイト	その他
20決算	309	900	1,209	0	0	0	1,209	0.05	0.00	0.00	0.00
21決算	27	900	927	0	0	0	927	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	197	450	647	0	0	0	647	0.00	0.00	0.00	0.05

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼	40		
	旅費	相模原市との協議	56			
	役務費	文書翻訳料	101			
					合計	197

整理番号	2005021	事務事業名	友好都市交流推進事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
無錫市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の世界情勢を考えると、中国との友好交流を続ける必要性が高まっている。</li> <li>無錫市との交流は友好都市提携から約30年を数え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。</li> <li>交流の主役は市民であるが、友好都市提携はお互いの市と市が締結したものであることから、市として事業を実施する必要がある。</li> </ul>
	有効性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>長きにわたる交流の成果として両市は良好な関係を構築している。</li> <li>市民同士が継続的に交流できるよう、無錫市と連絡調整を行っている。</li> </ul>
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施にあたっては、市だけで実施するのではなく、明石市日中友好協会等の市民団体との協働により進めている。</li> </ul>
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	友好都市無錫市との連絡調整を行う上で必要最小限の予算額であり、現在の規模で継続する。
	手法の改善	維持	友好都市無錫市との連絡調整を行う上で必要最小限の予算額であり、現在の手法を継続する。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
現状通り進めていく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石市友好訪中団派遣事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005022		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令 ・要綱等	友好都市提携				
	事業	友好都市交流事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期 総合計画		(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にするまち						
		(節)	第5節 国際交流の推進						
個別計画									

事業の 目的	対象(誰を・何を)		市民、中国無錫市民					
	意図(どういう状態にしたいのか)		公式団を派遣し、両市の友好関係をさらに深める。					

事業 内容	平成20年度 (派遣実績なし)						
	平成21年度 ・市長訪中 人数: 2人 期間: 平成21年11月7日~14日(8日間) ・「ひょうご県民交流の船」(主催: ひょうご県民交流の船実行委員会)への職員派遣 派遣人数2人 期間: 平成21年9月15日~23日(9日間) 事業参加人数: 無錫・三峽下りコース58名(全コース合計465名)						
平成22年度見込み							
・明石市友好訪中団(無錫市国際友好都市交流会に参加) 人数: 4人 期間: 7日間 時期: 未定 ・明石市友好訪中団 人数: 4人 期間: 7日間 時期: 未定 ・友好都市提携30周年に向けての事前協議団 人数: 4人 期間: 4日間 時期: 未定							

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他	
20決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.48	0.00	0.00	0.00
21決算	622	4,500	5,122	0	0	0	5,122	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	3,380	4,320	7,700	0	0	0	7,700	0.00	0.00	0.00	0.48	0.00

22年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼	400		
	旅費	訪中旅費	2,700			
	需用費	消耗品等	250			
	役務費	海外専用携帯電話通話料	30			
					合計	3,380

整理番号	2005022	事務事業名	明石市友好訪中団派遣事業
------	---------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
無錫市への公式団派遣により、両市幹部が直接交流することで相互理解が深まっている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・近年の世界情勢を考えると、中国との友好交流を続ける必要性が高まっている。 ・無錫市との交流は友好都市提携から約30年を数え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 ・中国との交流では、行政間の交流の基盤の上に市民同士の交流が成り立っていることから、市が公式団を派遣することに必要性が認められる。
	有効性	やや高い	・公式団の派遣により、両市の幹部同士が直接意見交換するなかで、相互理解を深めるとともに友好関係の強化が図られている。
	効率性	やや高い	・必要最小限の予算の中で実施している事業であり、削減の余地は少ない。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	現状通り続ける。
	手法の改善	維持	現状通り続ける。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
最少の経費で最大の効果が得られるよう、今後も検討する。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)						
	派遣団数を2団に減少させる。	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			一般財源
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	
		削減見込①	-770	0	0	0	-770
		増加見込②	0	0	0	0	0
	差引①+②	-770	0	0	0	-770	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		無錫市友好交流団受入事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005023		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度		
	事業	友好都市交流事業	根拠法令 ・要綱等	友好都市提携				
第4次長期 総合計画	(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にするまち	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
	(節)	第5節 国際交流の推進						
個別計画								

事業の 目的	対象(誰を・何を)		市民、中国無錫市民					
	意図(どういう状態にしたいのか)		来明の受け入れを通じて、両市の友好交流を推進する。					

事業 内容	無錫市友好交流団の来明を受け入れ、交流事業を行う						
	平成20年度 ・無錫市友好交流団(政治協商会議無錫市委員会関係者) 人数:5人 期間:平成21年3月23日~28日(6日間) 平成21年度 ・無錫市代表団(無錫市副市長ほか) 人数:10人 期日:平成21年4月11日(1日間) ・無錫市友好交流団(無錫市人民代表大会常務委員会副主任ほか) 人数:6人 期間:平成21年10月30日~11月3日(5日間) 平成22年度見込み 人数:6人 期間:5日間 時期:未定						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	672	3,600	4,272	0	0	0	4,272	0.63	0.00	0.00	0.00
21決算	1,249	3,600	4,849	0	0	0	4,849	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	1,445	5,670	7,115	0	0	0	7,115	0.00	0.00	0.63	0.00

22年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼	185		
	需用費	消耗品等	280			
	委託料	受入事業委託	750			
	使用料及び賃借料	ホテル使用料	230			
					合計	1,445

整理番号	2005023	事務事業名	無錫市友好交流団受入事業
------	---------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
無錫市からの公式団受け入れにより両市の交流が進んでいるとともに、友好都市・無錫に対する市民の関心が高まっている。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の世界情勢を考えると、中国との友好交流を続ける必要性が高まっている。</li> <li>無錫市との交流は友好都市提携から約30年を数え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。</li> <li>中国との交流では、行政間の交流の基盤の上に市民同士の交流が成り立っていることから、無錫市の公式団を市として受け入れることは必要であると認められる。</li> </ul>
	有効性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式団の受け入れにより、両市幹部が直接意見交換するなかで相互理解や友好関係の強化が図られている。</li> </ul>
	効率性	高い	受け入れについては明石市国際交流協会に手配を委託するなどにより、経費節減に努めている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	現状通り進める。
	手法の改善	軽微な改善	受け入れ業務の委託内容の精査を進め、より効率的な実施を図る。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
国際的な儀礼を逸しないことを前提に、今後も訪問団受け入れにかかる経費の削減を検討していく。	

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		無錫市研修生受入事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005024	
				分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	事業	友好都市交流事業		根拠法令 ・要綱等	友好都市提携			
第4次長期 総合計画	(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にするまち		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節)	第5節 国際交流の推進						
個別計画								
事業 の 目的	対象(誰を・何を)							
	市民、中国無錫市民							
意図(どういう状態にしたいのか)								
無錫市関係者の研修を通じて、無錫市の発展に資するとともに、市民との交流により両市の友好関係を進展する。								
事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国無錫市から行政関係者を中心とする研修生を受け入れ、明石市の市政等について研修を行う。</li> <li>・研修期間中、市民との交流の機会を持つ。</li> </ul>							
	平成20年度 人数:3人 期間:平成21年2月4日～23日(20日間) テーマ:環境保護							
	平成21年度 人数:3人 期間:平成21年11月5日～24日(20日間) テーマ:防災安全							
	平成22年度 人数:2人 期間:20日間 時期:未定 テーマ:未定							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	1,158	2,700	3,858	0	0	0	3,858	0.68	0.00	0.00	0.00
21決算	1,265	3,600	4,865	0	0	0	4,865	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	1,307	6,120	7,427	0	0	0	7,427	0.00	0.00	0.68	0.00
22 年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容		金額	区分(節)	内容		金額			
	報償費	通訳謝礼		125							
	需用費	消耗品等		180							
	委託料	受入事業委託		764							
	使用料及び賃借料	ホテル使用料		238							
									合計		1,307

整理番号	2005024	事務事業名	無錫市研修生受入事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	明石市で研修した無錫市からの研修生が、その成果を無錫市にフィードバックしている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の世界情勢を考えると、中国との友好交流を続ける必要性が高まっている。</li> <li>無錫市との交流は友好都市提携から約30年を数え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。</li> <li>無錫市からの研修生の受け入れについては、同市の発展に資するものであり、派遣に対する同市の強い意向もあることから、本市としても必要であると考えている。</li> </ul>
	有効性	やや高い	約3週間、日本に滞在することから有効な研修カリキュラムを組めるとともに、市民との交流イベントも開催しやすいことから、市民の国際交流推進の意味からも有効性が認められる。
	効率性	高い	受け入れについては明石市国際交流協会に手配を委託するなどにより、経費節減に努めている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	現状通り進める。
	手法の改善	軽微な改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き業務委託の手法を用いて、より効率的な実施を図る。</li> <li>研修生からのレポート提出等、研修効果をフィードバックさせるよう手法に工夫を加える。</li> </ul>
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
国際的な儀礼を逸しないことを前提に、今後も訪問団受け入れにかかる経費の削減を検討していく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	



## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		無錫市訪日団受入事業(相模原市招請)		新規/継続	継続事業	整理番号	2005025		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連 連 予 算 科 目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 60 年度		
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令 ・要綱等	友好都市提携				
	事業	友好都市交流事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期 総合計画		(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にすまち						
		(節)	第5節 国際交流の推進						
個別計画									

事業の 目的	対象(誰を・何を)	市民、中国無錫市民						
	意図(どういう状態にしたいのか)	相模原市が招請した無錫市からの来明団の受け入れを通じて、両市の友好交流を推進する。						

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国無錫市と友好都市提携を結んでいる神奈川県相模原市が招請した無錫市関係者を明石市に受け入れ、市民間交流や研修などを通じて友好都市交流の進展を図る。</li> <li>・交流団の人数、時期等は相模原市が無錫市と協議して決定する。</li> </ul>							
	<p>平成20年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無錫市人民代表大会友好交流団 人数:5人 期間:平成21年2月19日～21日(3日間)</li> <li>・無錫市福祉・医療交流団 人数:3人 期日:平成21年3月6日(1日間)</li> </ul> <p>平成21年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無錫市経済・監査視察団 人数:3人 期日:平成21年12月11日(1日間)</li> </ul> <p>平成22年度見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人数:6人 期間:4日間 時期:未定</li> </ul>							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	483	1,800	2,283	0	0	0	2,283	0.04	0.00	0.00	0.00
21決算	93	1,800	1,893	0	0	0	1,893	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	954	360	1,314	0	0	0	1,314	0.00	0.00	0.00	0.04

22年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼	110		
	需用費	消耗品等	200			
	委託料	受入事業委託	520			
	使用料及び賃借料	ホテル使用料	124			
					合計	954

整理番号	2005025	事務事業名	無錫市訪日団受入事業(相模原市招請)
------	---------	-------	--------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	神奈川県・相模原市が招請した無錫市からの公式団を受け入れることにより、明石市と無錫市の交流が進み、友好都市・無錫市に対する市民の関心が高まっている。					

事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の世界情勢を考えると、中国との友好交流を続ける必要性が高まっている。</li> <li>無錫市との交流は友好都市提携から約30年を数え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。また同市は、日本国内に明石市と相模原市との間に友好都市提携を結んでおり、日本を訪れる際には両方の市を訪問したいという意向を持っている。</li> <li>中国との交流では、行政間の交流の基盤の上に市民同士の交流が成り立っていることから、無錫市の公式団を市として受け入れることは必要であると認められる。</li> </ul>
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式団の受け入れにより、両市幹部が直接意見交換するなかで相互理解や友好関係の強化が図られている。</li> </ul>
	効率性	高い	受け入れについては明石市国際交流協会に手配を委託するなどにより、経費節減に努めている。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	現状通り進める。
	手法の改善	軽微な改善	受け入れ業務の委託内容の精査を進め、より効率的な実施を図る。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針						
国際的な儀礼を逸しないことを前提に、今後も訪問団受け入れにかかる経費の削減を検討していく。						

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)			23年度予算事業費増減見込(千円)			
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
	差引①+②	0	0	0	0	0

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	国際交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005026		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	明石市国際交流協会設立				
	事業	国際交流事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画	(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にするまち						
	(節)	第5節 国際交流の推進						
個別計画								

事業の目的	対象(誰を・何を)		市民(在住外国人を含む)				
	意図(どういう状態にしたいのか)		市民の国際理解を深め、多文化共生・地域国際化を推進する。				

事業内容	平成20年度					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。</li> <li>・国際交流促進事業を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。</li> <li>①国際交流・協力啓蒙事業(国際交流ボランティアの募集・育成 など) ②多文化共生事業(国際理解講演会、小中学校へのゲストティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など) ③国際交流活動助成事業</li> </ul>					
	平成21年度					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。</li> <li>・国際交流促進事業を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。</li> <li>①国際交流・協力啓蒙事業(国際交流ボランティアの募集・育成 など) ②多文化共生事業(国際理解講演会、小中学校へのゲストティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など) ③国際交流活動助成事業</li> </ul>					
	平成22年度見込み					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。</li> <li>・国際交流促進事業を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。</li> <li>①国際交流・協力啓蒙事業(国際交流ボランティアの募集・育成 など) ②多文化共生事業(国際理解講演会、小中学校へのゲストティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など) ③国際交流活動助成事業</li> </ul>					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	9,773	5,400	15,173	0	0	0	15,173	0.36	0.00	0.00	0.00
21決算	8,776	10,800	19,576	0	0	0	19,576	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	9,921	3,240	13,161	0	0	0	13,161	0.00	0.00	0.36	0.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼	40		
	旅費	近接地旅費、研修会等参加旅費	113			
	需用費	消耗品等	180			
	役務費	文書翻訳料	34			
	委託料	国際交流促進事業委託	9,400			
	使用料及び賃借料	施設入館料	51			
	負担金補助及び交付金	関係団体会費、研修会等参加費	103		合計	9,921

整理番号	2005026	事務事業名	国際交流推進事業
------	---------	-------	----------

指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
国際交流協会 会員数	国際交流についての市民への啓発が進むことにより、国際交流協会の会員数が増える。	人	520人	524人	550人
国際交流協会 ボランティア活動実績	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。	回	782回	979回	1000回
<b>指標で表せない成果</b>					
市民の国際交流に対する理解を深めることで、地球上には様々な国や地域、民族があり、多様な考え方を持つ人々がそれぞれの価値観に基づいて暮らしていることを理解し、お互いに尊重していこうという多文化共生社会の考え方が普及している。					

項目	評価	説明
必要性	高い	国際化、ポータリティ化が著しい現代社会において、在住外国人を含む諸外国の人々との相互理解や交流は市民にとって大切なことであり、行政は積極的に国際交流を進める必要がある。
有効性	やや高い	・各種講演会や交流会を開催し、国際理解の浸透や多文化共生社会の実現に向けた事業を進めている。 ・在住外国人を対象とした事業として、日本語学習会の開催などを進めている。
効率性	高い	明石市国際交流協会への業務委託により各種の国際交流事業を展開しており、効率化が図られている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い		

項目	判断	説明
事業の規模	維持	多文化共生社会の実現に向けて、今後も幅広い国際交流事業を展開する。
手法の改善	軽微な改善	国際交流協会の運営に会員がさらに自主的にかかわり、活発に事業を進めていけるよう、ボランティア育成に向けた検討を進める。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		

今後の事業展開方針	
今後、市民の意見をより一層反映させながら、多文化共生・地域国際化の推進に努める。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
国・県支出金			地方債	その他 特定財源	一般財源	
削減見込①	0	0	0	0	0	
増加見込②	0	0	0	0	0	
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	諸外国との交流事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005027		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計			事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費			連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度	
	目	文化振興・国際交流費			根拠法令・要綱等				
	事業	国際交流事業			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第4次長期総合計画	(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にするまち			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		
	(節)	第5節 国際交流の推進							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)	姉妹都市・友好都市提携先以外の諸外国との国際交流を推進し、市民の国際理解を深める。							

事業内容	平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア子ども国際スポーツ大会への派遣 派遣人数:7人 期間:平成20年7月4日～11日(8日間) 内容:市内中学生柔道選手の大会参加</li> <li>・ヤクーツク歌劇場関係者の受入 受入人数:4人 期日:平成20年9月26日(1日間) 内容:コンサートのため来明した関係者の受入</li> <li>・サハ共和国での職員研修 派遣人数:1人 期間:平成20年11月7日～平成21年3月23日のうち114日間 内容:音楽文化行政等に関する研修</li> </ul>								
	平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤクーツク歌劇場関係者の受入 受入人数:4人 期間:平成21年8月20日～23日(4日間) 内容:コンサートのため来明した関係者の受入</li> </ul>								
	平成22年度見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サハ高等音楽院からの友好訪問団受入 受入規模:5人程度 時期:未定、4日間程度 内容:市内学校に音楽指導に訪れる団の受入</li> </ul>								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	0.15	アルバイト	0.00
20決算	4,490	4,500	8,990	0	0	0	8,990	再任用	0.00	その他	0.00
21決算	240	2,700	2,940	0	0	0	2,940	臨時	0.00	合計	0.15
22当初予算	540	1,350	1,890	0	0	0	1,890				

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼	110		
	需用費	消耗品等	120			
	委託料	訪問団受入事業委託	290			
	使用料及び賃借料	会場借上料	20			
					合計	540

整理番号	2005027	事務事業名	諸外国との交流事業
------	---------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
諸外国との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解が深まっている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	市民の国際交流についての理解を深め、多文化共生を推進する取り組みは、グローバル社会を迎えた現代において行政に求められる施策の一つであることから、諸外国との交流事業を進めることは必要性が高い事業である。
	有効性	やや高い	・諸外国からの訪問団受け入れや派遣を進めることは、市民が国際交流への理解を深める効果的な方法である。
	効率性	やや高い	受け入れについては明石市国際交流協会に手配を委託するなどにより、経費節減に努めている。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	現状通り進める。
	手法の改善	軽微な改善	受け入れ業務の委託内容の精査を進め、より効率的な実施を図る。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
国際的な儀礼を逸しないことを前提に、今後も訪問団受け入れにかかる経費の削減を検討していく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	サハ高等音楽院青少年派遣事業			新規/継続	新規事業	整理番号	2005028		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計			事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費			連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度	
	目	文化振興・国際交流費			根拠法令・要綱等	音楽を通じた連携協力の覚書			
	事業	国際交流事業			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
第4次長期総合計画	(章)	第6章 人との出会いとふれあいを大切にするまち							
	(節)	第5節 国際交流の推進							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)								
	明石市内在住・在学等の高校生以下の青少年								
意図(どういう状態にしたいのか)									
サハ高等音楽院へ次代を担う青少年を派遣し、専門の指導者からの高いレベルの指導や異文化を直接体験する機会を供することにより、音楽のあふれるまちづくりの一層の推進を図るとともに音楽を通じた国際交流を進める。									

事業内容	平成22年度見込み(新規事業) ○募集人数:若干名 ○対象:市内在住、在学等の高校生以下の青少年 ○時期:春休み期間中 10日間程度 ○費用負担等:参加する青少年は実費を負担 ○内容:専門の指導者からの音楽指導、サハ共和国ヤクーツ市内の視察および異文化体験、寮生活等を通じた現地の青少年との交流事業								
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他		
20決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.41	0.00	0.00	0.00
21決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	1,780	3,690	5,470	0	0	0	5,470	0.00	0.00	0.00	0.41	0.00	0.41

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼	250		
	旅費	訪露旅費(随行分)	1,100			
	役務費	海外専用携帯電話通話料	30			
	委託料	派遣事業委託	400			
					合計	1,780

整理番号	2005028	事務事業名	サハ高等音楽院青少年派遣事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
音楽院で専門の指導者から高いレベルの指導を受けた青少年が、音楽のあふれるまちづくりに向けた活動や音楽を通じた国際交流を進めている。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・音楽のあふれるまちづくりを推進する本市が、青少年の音楽レベルを向上させるため、音楽を通じた連携協力の覚書を結んでいるサハ高等音楽院に青少年派遣事業を実施する意義は大きい。
	有効性	やや高い	・専門の指導者からの高いレベルの指導や異文化を直接体験する機会を供することは、青少年の音楽レベルの向上を図る効果的な手法であるといえる。 ・平成22年度新規事業であるため、成果についてはこれから検証していくことになる。
	効率性	やや高い	・サハ高等音楽院青少年派遣事業参加者については、参加費への補助をおこなっておらず、最小限の経費で派遣事業を実施しようとしている。 ・派遣人数が少人数であっても引率者の同行が必要であることから、費用対効果はおのずと低くなる。 ・事業全体の経費については、実施後に検証する必要がある。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・音楽院側の受け入れ態勢等の状況を考慮すると、派遣人数は5人程度が適正である。 ・派遣期間や引率者数等については、平成22年度の実施を踏まえて検討する。
	手法の改善	軽微な改善	新規事業であるため、平成22年度の実施後に効果等を検証し、必要に応じて募集方法や事前・事後の研修のあり方など手法の改善を進める。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
新規事業であるため、事業実施後に検証を行い必要に応じ改善していく。	

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	



# 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化博物館運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005029		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5608				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度		
	目	文化博物館費	根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則				
	事業	文化博物館運営事業	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画		(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち						
		(節) 第5節 市民文化の高揚						
個別計画								

事業の目的	対象(誰を・何を)		明石市立文化博物館				
	意図(どういう状態にしたいのか)		明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・展示を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。				

事業内容	事業の目的のために、展覧会事業、貸館業務、施設維持管理業務、その他の業務を行う。					
	<p>①市と指定管理者は、適正な管理・運営を図るため定例協議を行う。 平成20年度 月例12回 四半期4回 年度1回 平成21年度 月例12回 四半期4回 年度1回 平成22年度見込みも同様</p> <p>②指定管理者による展覧会事業の実施 平成20年度 特別展4回、企画展5回、小さな展覧会1回、観覧者数50,065人 平成21年度 特別展3回、特別企画展2回、企画展5回、小さな展覧会3回、観覧者数51,460人 平成22年度見込み 特別展3回、特別企画展2回、企画展4回、観覧者数52,000人</p> <p>③指定管理者による貸館事業 平成20年度 ギャラリー(22件、利用率96.1%、稼働率92.1%、利用者数23,794人)、会議室(76件、利用率49.0%、稼働率28.5%、利用者数2,388人) 平成21年度 ギャラリー(22件、利用率98.2%、稼働率96.2%、利用者数22,345人)、会議室(58件、利用率55.7%、稼働率39.1%、利用者数1,319人)</p> <p>④指定管理者による施設維持管理業務の実施 平成20年度 修繕37件 平成21年度 修繕39件</p> <p>⑤指定管理者による広報誌「文化博物館ニュース」の発行 平成20年度 8,000部 平成21年度 8,000部 平成22年度見込みも同様</p> <p>⑥指定管理者による博物館資料の整備 資料購入数 平成20年度 3点 平成21年度 3点 寄贈資料の受け入れ 平成20年度 12件79点 平成21年度 15件335点</p> <p>⑦学校観覧数(小・中学校) 平成20年度 89校 平成21年度 71校</p> <p>⑧ボランティア育成事業 平成20年度 登録人数 62人 活動延べ人数 1,023人 平成21年度 登録人数 63人 活動延べ人数 915人</p>					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	164,140	12,260	176,400	0	0	271	176,129	0.00	1.30	0.00	0.00
21決算	164,150	8,420	172,570	0	0	256	172,314	0.00	0.20	0.00	0.00
22当初予算	158,000	12,400	170,400	0	0	1,513	168,887	0.00	0.00	1.50	0.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		委託料	指定管理料	158,000		
					合計	158,000

整理番号	2005029	事務事業名	文化博物館運営事業
------	---------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を測る指標として設定する。	人	50,065	51,460	52,000
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石の歴史や明石にゆかりのある作家の展覧会を実施することにより、郷土への理解を深めることに貢献している。また、質の高い展覧会を実施することで、生活や創造活動への活力を生み出している。</li> <li>・学校観覧では、本物を見ることで、児童・生徒が学習の理解を深め、新たな興味を抱く場として利用されている。</li> <li>・ボランティア活動では、来館者の満足度を高めると共に、世代間交流やボランティア自身の自己実現の場としても機能している。</li> </ul>						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・明石市立文化博物館条例及び第4次長期総合計画に基づき、明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・展示を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、市が事業を実施していく必要がある。
	有効性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度を導入することにより、開館時間の延長などの市民サービスの向上が図られている。</li> <li>・展覧会は年間計画どおりに開催され、明石の歴史や文化の展示、優れた芸術の鑑賞の場を提供できている。</li> <li>・観覧者数は大幅な増加が見られなかったため、広報や市民ニーズの把握に問題があったと考えられる。</li> <li>・ギャラリー、大会議室の利用率、稼働率共に前年度を上回っている。</li> <li>・継続的な明石の歴史や文化に関する調査・研究や学術資料の整理・保管に関して検討が必要である。</li> </ul>
	効率性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理・運営を指定管理者に委ねることにより、民間活力の導入と経費の縮減が図られている。</li> <li>・指定管理者から日、月、四半期、年度の報告を受け、市と指定管理者が定期及び随時の協議の場を持ち、市が指導及び監督を行なうことで、より適正な管理・運営を行っている。</li> <li>・展覧会観覧料のほか、ギャラリー、大会議室、駐車場の利用者に対し、適正な使用料の負担を求めている。</li> </ul>
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・市として質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図っていくことは必要であり、指定管理者制度の導入によっても、同様のサービス等が提供されていることもあり、必要性が高く、有効性もやや高い当事業は現状どおりの規模で継続する必要がある。
	手法の改善	維持	・指定管理者制度を導入して3年が経過し、かつ22年度から指定管理者が替わることもあり、現時点では、有効性に関して、継続的な明石の歴史や文化に関する調査・研究、学術資料の整理・保管が問題なく行われていくと結論が出せず、今後も検証していく必要がある。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
・文化博物館の運営に関しては、指定管理者による管理・運営を今後も検証していきながら、市民サービスの向上や優れた芸術鑑賞の場の提供に努めていく。	

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化博物館施設整備事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005030		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課		文化芸術部文化振興課			
	款	総務費		連絡先		(078)918-5608			
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度		
	目	文化博物館費		根拠法令・要綱等		明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則			
	事業	文化博物館運営事業		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
第4次長期総合計画		(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち							
		(節) 第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)		
	明石市立文化博物館		
意図(どういう状態にしたいのか)			
破損、劣化した施設・設備の改修、更新を行い、施設・設備の安全で効率的な運用を図る。			

事業内容	文化博物館施設・設備の整備		
	<平成20年度> ①受電設備改修工事 経年劣化及び使用電力の増加に伴い、変圧器等の更新を行った。工事請負費3,045千円 ②オストメイト対応トイレ改修 オストメイト対応にトイレを改修し、利用者サービスの向上を図った。修繕料747千円 <平成21年度> ①屋上防水改修工事 経年劣化している屋上防水の改修を行うとともに、劣化が顕著である金属屋根及びコンクリート梁塗装の改修を行った。工事請負費8,658千円 <平成22年度見込み> ①館名表示設置業務委託 現在の館名表示は、壁面スモークガラス内部に白色ネオンを設置しており、夜間はよく見えるが日中は見えにくいいため、新たな表示を設置する。 委託料4,000千円		

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	3,792	1,800	5,592	358	0	0	5,234	0.40	0.00	0.10	0.00
21決算	8,658	1,350	10,008	0	0	0	10,008	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	4,000	3,950	7,950	0	0	0	7,950	0.00	0.00	0.00	0.50

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	委託料	館名表示設置業務委託	4,000			
					合計	4,000

整理番号	2005030	事務事業名	文化博物館施設整備事業
------	---------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検等と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・施設設置者として、施設・設備の安全で効率的な運用のために改修・更新することは不可欠である。
	有効性	高い	・平成20年度受電設備の改修では、変圧器等の更新により供給電力量が大幅に増加され、博物館内の温度、湿度管理のための空調機器の一時停止等の不安が解消された。 ・平成21年度の屋上防水の改修では、既存アスファルト防水の浮き・腫れ部分を撤去し補修することにより、防水機能を回復することができた。
	効率性	高い	・通常の維持管理として行うべき修繕は、指定管理者が実施している。一方、長期的な改修計画に基づく大規模な施設・設備の改修については、設置者である市が、市の契約制度に基づき実施しており、効率的な施設の維持管理と経費の縮減が図られている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・必要性・有効性共に高く、施設・設備の安全性及び機能性を確保するため、当事業は現状どおりの規模で継続する必要がある。
	手法の改善	維持	・今後も引き続き施設・設備の計画的な改修・更新を効率的に行っていく必要がある。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
・文化博物館の施設整備に関しては、指定管理者による管理・運営を今後も検証しながら、施設・設備の安全で効率的な改修・更新を進めていく。 ・開館から19年経過し、設備の老朽化や収蔵設備の整備に対応し、また常設展示室のリニューアルについて検討していく必要がある。	

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）						
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳				
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
	・館名表示設置業務委託の減 ・大会議室（貸館）の音響・映像設備の更新による増 ・老朽化した電話設備の更新による増 ・旧館名表示の撤去による増	削減見込①	-4,000	0	0	0	-4,000
		増加見込②	3,600	0	0	0	3,600
	差引①+②	-400	0	0	0	-400	

# 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民会館運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005031		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5608				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度		
	目	市民会館費	根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則				
	事業	市民会館運営事業	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画	(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち							
	(節) 第5節 市民文化の高揚							
個別計画								

事業の目的	対象(誰を・何を)	明石市立市民会館、明石市立西部市民会館、明石市立中崎公会堂、明石市立市民ホール(以下、「市民会館等」という。)					
	意図(どういう状態にしたいのか)	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。					

事業内容	事業の目的のために、貸館業務、自主事業、施設維持管理業務、その他の業務を行う。					
	<p>①市と指定管理者は、適正な管理・運営を図るため定例協議を行う。 平成20年度 月例12回 四半期4回 年度1回 平成21年度 月例12回 四半期4回 年度1回 平成22年度見込みも同様</p> <p>②指定管理者による貸館事業の実施 平成20年度 市民会館(1,491件、利用率64.5%、稼働率42.8%、利用者数254,611人)、西部市民会館(728件、利用率68.3%、稼働率55.1%、利用者数72,900人)、中崎公会堂(951件、利用率80.7%、稼働率57.8%、利用者数25,432人)、市民ホール(144件、利用率62.7%、稼働率32.1%、利用者数10,325人)※市民ホール H20年10月1日～H21年2月28日の間、改修工事のため休館 平成21年度 市民会館(1,537件、利用率63.1%、稼働率46.9%、利用者数209,145人)、西部市民会館(742件、利用率69.2%、稼働率54.3%、利用者数68,401人)、中崎公会堂(964件、利用率87.1%、稼働率61.4%、利用者数25,816人)、市民ホール(335件、利用率85.4%、稼働率42.0%、利用者数19,202人)※市民会館 H22年1月13日～H22年3月17日の間、大・中ホール音響、照明改修工事のため休止</p> <p>③指定管理者による自主事業の実施 平成20年度 32公演51ステージ開催 観覧者数31,740人 平成21年度 25公演38ステージ開催 観覧者数21,455人 平成22年度見込み 29公演52ステージ開催 観覧者数30,000人</p> <p>④指定管理者による施設維持管理業務の実施 平成20年度 修繕33件(市民会館 23件、西部市民会館 7件、市民ホール 3件) 平成21年度 修繕52件(市民会館 31件、西部市民会館 19件、中崎公会堂 2件)</p> <p>⑤その他の業務 平成20年度 広報紙「しおさい」の発行 96,000部、友の会(404人14団体)第九合唱団(208人)の育成等の実施 平成21年度 広報紙「しおさい」の発行 96,000部、友の会(379人15団体)第九合唱団(215人)の育成等の実施 平成22年度見込みも同様</p>					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
20決算	172,726	11,240	183,966	0	0	3,697	180,269	0.90	0.00	0.00
21決算	165,252	8,580	173,832	0	0	0	173,832	0.60	0.00	0.00
22当初予算	164,943	10,200	175,143	0	0	1,056	174,087	0.00	0.00	1.50

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		委託料	指定管理料	164,680		
	工事請負費	電波障害世帯のケーブルテレビ化	263			
					合計	164,943

整理番号	2005031	事務事業名	市民会館運営事業
------	---------	-------	----------

指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。	人	363,268	322,564	350,000
自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を測る指標として設定する。	人	31,740	21,455	30,000
<b>指標で表せない成果</b>					
平成21年度、市内20小学校6年生対象に劇団四季「こころの劇場」へ無料招待し、質の高い芸術鑑賞の機会を提供できたことや、小学生参加のミュージカル、一般市民対象の舞台技術講座の開催など、市民参加育成事業を実施した。					

項目	評価	説明
必要性	高い	・明石市立市民会館条例、明石市立西部市民会館条例、明石市立公会堂条例、明石市立市民ホール条例及び第4次長期総合計画に基づき、市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、市が事業を実施していく必要がある。
有効性	高い	・指定管理者制度を導入することにより、利用者ニーズに合わせた開館時間等の柔軟な運用や使用日1ヶ月をきり10日までの申し込みを受け付けるなど、市民サービスの向上が図られている。 ・自主事業は、大型公演を多く企画し、市民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供できている。 ・貸館としての施設利用状況では、さらに利用促進を図る必要のある施設もあるが、概ね発表の場の提供について役割を果たしている。
効率性	高い	・施設の管理・運営を指定管理者に委ねることにより、民間活力の導入と経費の縮減が図られている。 ・指定管理者から日、月、四半期、年度の報告を受け、市と指定管理者が定期及び随時の協議の場を持ち、市が指導及び監督を行なうことで、より適正な管理・運営を行っている。 ・自主事業公演入場料のほか、ホール等の使用にあたっては、利用者に対し、適正な使用料の負担を求めている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い		

項目	判断	説明
事業の規模	維持	・市として、質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供していくことは必要であり、指定管理者制度の導入によっても、同様のサービス等が提供されていることもあり、必要性・有効性とも高い当事業は現状どおりの規模で継続する必要がある。
手法の改善	維持	・指定管理者制度を導入して2期目4年が経過し、効率性では一定の効果があげられているが、有効性については、制度を今後も検証していく必要がある。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		

今後の事業展開方針	
市民会館の運営に関しては、指定管理者による管理・運営を今後も検証していきながら、市民サービスの向上や質の高い芸術鑑賞の機会の提供に努めていく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
増加見込②	0	0	0	0	0	
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民会館施設整備事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2005032		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計							
	款	総務費			事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5608			
	目	市民会館費			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度	
	事業	市民会館運営事業			根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則			
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節)	第5節 市民文化の高揚							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)								
	明石市立市民会館、明石市立西部市民会館、明石市立中崎公会堂、明石市立市民ホール(以下「市民会館等」という。)								
意図(どういう状態にしたいのか)									
破損、劣化した施設・設備の改修、更新を行い、施設・設備の安全で効率的な運用を図る。									

事業内容	市民会館等の施設・設備の整備								
	<平成20年度> ①市民ホール改修工事 工事請負費28,556千円 実施設計等委託料1,121千円 備品購入費(客席用椅子及び台車等)2,341千円 ②市民会館音響・照明設備改修工事設計委託 委託料6,804千円 ③市民会館大ホール客席改修工事 修繕料1,000千円 <平成21年度> ①市民会館音響・照明設備改修工事 工事請負費316,785千円 ②市民ホール会議用机更新 備品購入費3,223千円 <平成22年度> ①市民会館外壁タイル調査業務委託 劣化が進行している市民会館外壁タイルの調査を行う。 委託料800千円 ②西部市民会館ガス吸収式冷温水機分解整備工事 平成11年の開館以来、分解整備工事を行っていないため、分解整備を行うことにより、不測の緊急停止などを防止するとともに、設備の延命を図る。 工事請負費3,800千円								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	39,822	1,800	41,622	0	36,300	0	5,322	0.40	0.00	0.10	0.00
21決算	320,008	1,350	321,358	3,223	316,700	0	1,435	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	4,600	3,950	8,550	0	0	0	8,550	0.00	0.00	0.00	0.50

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	委託料	市民会館外壁タイル調査業務委託	800			
	工事請負費	西部市民会館ガス吸収式冷温水機分解整備工事	3,800			
					合計	

整理番号	2005032	事務事業名	市民会館施設整備事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や営繕課が実施する市有建築物の劣化度等調査と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・施設設置者として、施設・設備の安全で効率的な運用のために改修・更新することは不可欠である。
	有効性	高い	・平成20年度の市民ホールの改修では、内装・設備を改修したことにより、従来の利用者からも好評を得ており、新たな利用者開拓も進んでいる。市民会館大ホールの客席改修では、1階客席の後部両端の座席22席を撤去し、通路にすることにより、観客がよりスムーズに通行できるようになった。 ・平成21年度の市民会館音響・照明設備の改修では、機器の更新及びデジタル回線に変更することにより、安全性及び機能性を向上し、多様な舞台環境の提供を可能にした。
	効率性	高い	・通常の維持管理として行すべき修繕は、指定管理者が実施している。一方、長期的な改修計画に基づく大規模な施設・設備の改修については、設置者である市が、市の契約制度に基づき実施しており、効率的な施設の維持管理と経費の縮減が図られている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・必要性・有効性共に高く、施設・設備の安全性及び機能性を確保するため、当事業は現状どおりの規模で継続する必要がある。
	手法の改善	維持	・今後も引き続き施設・設備の計画的な改修・更新を効率的に行っていく必要がある。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
・市民会館等の施設整備に関しては、指定管理者による管理・運営を今後も検証しながら、施設・設備の安全で効率的な改修・更新を進めていく。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等) ・外壁タイル調査及び冷温水機整備工事の減 ・外壁タイル改修工事(63,000千円)は別途、重点事業調査にて検討する。	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	-4,600	0	0	0	-4,600
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	-4,600	0	0	0	-4,600	



# 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習センター運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2015001		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部生涯学習センター				
	款	総務費	連絡先	078-918-5600				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度		
	目	生涯学習センター費	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則				
	事業	生涯学習センター運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
第4次長期総合計画	(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち	個別計画	明石市生涯学習ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節) 第3節 生涯学習の振興							

事業の目的	対象(誰を・何を)	生涯学習センター(男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム・子ども図書館除く)
	意図(どういう状態にしたいのか)	多くの市民が生涯学習に取り組み、市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、使いやすい貸し館運営を行い、提供するサービスを充実させる。

事業内容	<平成20年度>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習センター貸し館運営                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習室1(120人)、2(81人)、3(45人)、4(12人)、パソコン室(25人)、調理実習室(25人)、工芸室(25人)、茶室和室(29人)、ホール(293人)の貸し館を行った。件数 5,409件、平均利用率 63.5%、利用者数 84,187人</li> <li>・パソコンルーム用機材を賃貸借により設置 サーバー1台、パソコン25台</li> </ul> </li> <li>② 学習情報の提供                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習情報誌「わらしのわ」を発行した(年4回、5000部)。</li> <li>・生涯学習センターホームページにて貸し館の状況や企画事業の情報提供を行った。</li> <li>・学習情報コーナーにて、書籍・DVD・インターネットの閲覧サービスを行った。(利用者年間約5,000人)</li> </ul> </li> <li>③ 生涯学習センター運営委員会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターの運営について広く意見を求めるため、運営委員会を1回開催した。</li> </ul> </li> </ul>
	<平成21年度> ※下記変更以外は平成20年度とほぼ同じ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習センター貸し館運営                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用件数等:件数 5,629件、平均利用率 64.0%、利用者数 84,039人</li> </ul> </li> <li>② 生涯学習センター運営委員会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会を2回開催。</li> </ul> </li> </ul>
	<平成22年度> ※下記変更以外は平成21年度とほぼ同じ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習センター貸し館運営                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用拡大を図るため、使用料の一部値下げ(ホール、和室、音楽練習室2)や直前割引使用料の設定のほか、新たにリハ・サルススタジオの新規貸出を行った。また、ホールのネーミング募集(H22.8.1~)を実施し、更なるPRに努める。</li> <li>・パソコン室のインターネット接続環境の見直しや携帯用補聴器誘導システムを導入し利用者のサービス向上を図る。</li> </ul> </li> <li>② 生涯学習センター運営委員会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・明石市生涯学習推進プラン策定に向け、運営委員会を3回開催予定。</li> </ul> </li> </ul>

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	11,228	26,520	37,748	0	0	9,989	27,759	2.00	0.00	0.20	0.80
21決算	14,982	26,420	41,402	0	0	21,392	20,010	2.00	0.00	0.20	0.80
22当初予算	16,810	24,650	41,460	0	0	20,400	21,060	2.00	0.00	0.20	0.80

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	報償費		生涯学習センター運営委員会委員謝礼	385	負担金補助及び交付金	防火管理講習受講料
旅費		近接地旅費	160			
需用費		消耗品費(交換用ラフ、事務用品等)、学習情報誌印刷、PCネット環境構築費等	3,799			
役務費		ホール人件費、調律、PC室インターネット回線導入費等	748			
委託料		舞台操作、舞台吊物、舞台照明	6,647			
使用料及び賃借料		PCリース料、AV用PC更新費、コピー使用料、駐車場借上料、駐車	4,150			
備品購入費		会議室机や、音楽室楽器等の更新、ホール難聴者用補聴器誘導システム等	900		合計	16,810

整理番号	2015001	事務事業名	生涯学習センター運営事業
------	---------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	%	43.8	44.4	46.8
利用者数	貸し館の年間利用者数	人	84,187	84,039	92,000	
<b>指標で表せない成果</b>						
センターの利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。						

事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・生涯学習センターは、本市における生涯学習振興の中心的な役割を担っており、市が主体となって運営する必要がある。 ・少子高齢化等社会経済情勢の変化に伴い、市民ニーズも多様化し生涯学習の機会提供等の充実が求められている中、市民の生涯学習活動をより一層支援するため拠点施設である生涯学習センターの機能強化を図る必要がある。
	有効性	やや低い	・センターの貸し館については、年々利用者数、利用率とも上昇し、概ね良好に運営されてきたが、H20年度を境に利用率が伸び悩んでいる状況にあることから、H22.4月に使用料の値下げ(ホール、和室、音楽練習室)を行った。今後とも、貸し館運営についてさらなる工夫努力が必要である。
	効率性	やや高い	・ホールの舞台操作業務など多くの業務で競争入札を行うなど経費削減に向けた取組みを進めているほか、窓口受付業務をオンラインシステムで運用するなど、効率的な業務運営に努めている。 ・条例・規則に定める使用料の徴収により、適切な利用者負担が行われている。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・市の生涯学習振興の観点から直営で事業を行う必要がある。また、有効性については、平成22年4月から施設利用料の値下げ等貸し館利用のサービス向上を図っており、今後稼働率等の推移を検証していく必要がある。
	手法の改善	維持	・施設予約システムの導入や競争入札による業務委託を実施するなど効率化の取組みを行ってきており改善の余地は少ない。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

**今後の事業展開方針**

平成22年4月実施の施設使用料改定について更なるPRを行い、貸し館の利用促進を図るとともに、利用者等の意見を十分反映しながら、生涯学習支援の充実に努める。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)						
	備品購入費の削減(△350千円)	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			一般財源
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	
	削減見込①	-350	0	0	0	0	-350
	増加見込②	0	0	0	0	0	0
差引①+②	-350	0	0	0	0	-350	

# 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		分室運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2015002		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部生涯学習センター				
	款	総務費	連絡先	078-918-5600				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度		
	目	生涯学習センター費	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則				
	事業	生涯学習センター運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画		(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち						
		(節) 第3節 生涯学習の振興						
個別計画		明石市生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象(誰を・何を)						
	生涯学習センター分室						
意図(どういう状態にしたいのか)							
分室において多くの市民が生涯学習に取り組み市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、施設設備の状態を良好に保ち、使いやすい貸し館運営を行う。							

事業内容	<平成20年度> ① 貸し館運営 ・大会議室(250人)、和室(50人)、実習室(30人)、研修室(35人)、視聴覚室(35人)、小会議室(20人)の貸し館運営を行った。 ② 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供するなどの学習支援を行った。 ※①、②を合わせた利用件数等 延件数3,019件、延人数52,107人 ③ 修繕 ・和室改修(壁塗替等)						
	<平成21年度> ① 貸し館運営 ② 学習活動の支援 ※①、②を合わせた利用件数等 延件数2,999件、延人数52,084人 ③ 修繕 ・和室改修(畳表替え等)						
	<平成22年度> ※下記変更以外は平成21年度とほぼ同じ ③ 修繕 ・実習室作業台修繕等						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	1,050	6,600	7,650	0	0	944	6,706	0.40	0.00	0.10	5.00
21決算	693	7,600	8,293	0	0	377	7,916	0.00	0.00	0.00	5.00
22当初予算	1,260	6,950	8,210	0	0	480	7,730	0.00	0.00	0.00	5.50

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費(コピー用紙購入費ほか)、実習室作業台修繕一式ほか	920			
	役務費	電信電話料ほか	110			
	使用料及び賃借料	コピー機使用料金	80			
	備品購入費	会議用机、椅子等	150			
					合計	1,260

整理番号	2015002	事務事業名	分室運営事業
------	---------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	利用者数	年間利用者数		人	52,107	52,084
<b>指標で表せない成果</b>						
分室の利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がり醸成に貢献している。						

事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・生涯学習センター分室は、本市における生涯学習振興の役割を担っており、市が主体となって運営する必要がある。 ・少子高齢化等社会経済情勢の変化に伴い、市民ニーズも多様化し生涯学習の機会提供等の充実が求められている中、市民の生涯学習活動をより一層支援するため分室の存続は必要である。
	有効性	やや高い	・分室については、登録サークルの利用が大半であり、利用料金の収入増はあまり見込めないものの、活発なサークル活動が展開されており、有効活用されている。
	効率性	やや高い	・分室は臨時事務員による受付業務のみ行っており、必要最小限のコストで運営している。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・市が主体となって運営する必要性が高いとともに、登録サークルによる活発な活動が行われていることから、現状どおりの規模で継続して行う必要がある。
	手法の改善	維持	・施設の老朽化が進む中においても、年次的に必要な最小限の修繕で対応していることから、事業費削減の余地は少ない。 ・教育委員会において、平成24年以降市立図書館の耐震工事が計画されていることから、分室の運営について調整する必要がある。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
分室の管理・運営について、利用者等の意見を十分反映しながら、生涯学習支援の充実に努める。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	フロアコンサート		新規/継続	継続事業	整理番号	2015003		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部生涯学習センター				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5600				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度		
	目	生涯学習センター費	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同条例施行規則				
	事業	生涯学習センター運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第4次長期総合計画	(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち							
	(節) 第3節 生涯学習の振興							
個別計画	明石市生涯学習ビジョン							

事業の目的	対象(誰を・何を)	
	<対象(誰を・何を)> (1)市民等 (2)生涯学習センター	
事業の内容	意図(どういう状態にしたいのか)	
	<意図(どういう状態にしたいのか)> (1)多くの市民に良質な音楽を聴く機会を提供する。 (2)定期的にフロアコンサートを開催することにより、生涯学習センターの認知度を上げる。	
事業内容	主に明石にゆかりがあるプロの演奏家によるミニコンサート「ときのまちの小さな音楽会」を月1回、生涯学習センターのフロア(子ども図書館)、またはホールで開催する。 <平成20年度> 年間12回開催 観客:延べ1853名  <平成21年度> 年間12回開催 観客:延べ2020名  <平成22年度> 年間12回開催予定 観客:延べ1800名	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	732	6,020	6,752	0	0	123	6,629	0.60	0.00	0.30	0.00
21決算	841	6,040	6,881	0	0	0	6,881	0.10	0.00	0.00	0.00
22当初予算	951	6,720	7,671	0	0	100	7,571	0.10	0.00	0.00	1.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	出演者謝礼	700		
	需用費	出演者用花束、プログラム・ポスター作成	56			
	役務費	グランドピアノ調律、舞台操作人件費	175			
	使用料及び賃借料	音楽著作権物演奏使用料	20			
					合計	951

整理番号	2015003	事務事業名	フロアコンサート
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	観客数	各回観客数の合計		人	1,853	2,020
指標で表せない成果						
生涯学習センターの認知度アップ。明石ゆかりの音楽家のPR。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	「多くの市民に良質な音楽を聴く機会を提供する」ことは、大きな意味では「生涯学習の振興」に繋がる。また、施設の認知度を上げるという目的は施設の利用率アップにも繋がるため、妥当であると思われる。
	有効性	やや高い	月1回無料で音楽を楽しむことができるイベントとして定着し、生涯学習センターの認知度も上がった点は評価できる。
	効率性	やや低い	生涯学習センターのフロアを使い身近に良質な音楽が聴けるコンサートを開催するところに意義があるが、平成22年4月に料金改定を行ったホールをPRするため、ホールでの開催も検討する。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	年間12回開催の事業規模を維持する。
	手法の改善	軽微な改善	年11回を子ども図書館で、年1回をホールで開催する。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな明石ゆかりの音楽家の発掘し、音楽のジャンルを広げる。</li> <li>生涯学習センターの認知度アップのため、ホームページなどでのフロアコンサートのPRを強化する。</li> </ul>	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		23年度予算事業費増減見込(千円)				
子ども図書館での開催11回、ホールでの開催1回で試算。開催にかかる経費を見直し△29千円		対22年度当初予算比	合計	財源内訳		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源
削減見込①	-29	0	0	0	0	-29
増加見込②	0	0	0	0	0	0
差引①+②	-29	0	0	0	0	-29

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名 視聴覚ライブラリー運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2015004	
		分割/統合				
		事業の分割/統合の内容				
関連 予算 科目 目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部生涯学習センター		
	款	総務費	連絡先	078-918-5600		
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度
	目	生涯学習センター費	根拠法令 ・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則		
	事業	生涯学習センター運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他
第4次長期 総合計画		(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち	実施方法	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	
		(節) 第3節 生涯学習の振興				
個別計画		明石市生涯学習ビジョン				

事業の 目的	対象(誰を・何を)	生涯学習センターが保有する視聴覚教材、機材				
	意図(どういう状態にしたいのか)	市民の多様な学習需要に応えるため、視聴覚教材を充実させ、機材を整備し、利用しやすい環境をつくる。				

事業 内容	<平成20年度>					
	① 教材、機材の貸し出し ・幼稚園や子ども会、自治会などに16ミリフィルムやビデオ教材、及びプロジェクターやスクリーンなど機材の貸し出しを行った。 年間貸し出し件数 教材107件(学校:66件、その他:41件)、機材52件(学校:23件、その他:29件) ・教材の新規購入 (ビデオ 5本・DVD 15本を購入)					
	<平成21年度>					
	① 教材、機材の貸し出し ・教材102件(学校:56件、その他:46件)、機材26件(学校:9件、その他:17件) ・教材の新規購入 (ビデオ 2本・DVD 13本を購入)					
	② コンテンツ、教材等の作成 ・市歌の録音を行い、CDを制作(300枚)					
	<平成22年度>					
	① 教材、機材の貸し出し(22年8月1日現在) 教材43件(学校:12件、その他31件)・機材(学校3件、その他10件) 年間見込み貸出件数 100件(学校50件:その他50件)					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	890	2,540	3,430	0	0	0	3,430	0.00	0.00	0.00	0.00
21決算	1,127	2,520	3,647	0	0	0	3,647	0.10	0.10	0.10	0.10
22当初予算	1,318	419	1,737	0	0	0	1,737	0.00	0.00	0.20	0.20

22年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		旅費	近接地旅費、兵庫県視聴覚ライブラリー協議会理事会参加旅費	20		
	需用費	消耗品費(ビデオ教材購入費用ほか)、視聴覚機材補修	1,200			
	役務費	教材搬送用袋クリーニング代	10			
	備品購入費	視聴覚機器(貸し出し用)購入費用	80			
	負担金補助及び交付金	兵庫県視聴覚ライブラリー協議会会費	8			
					合計	1,318

整理番号	2015004	事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業
------	---------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	貸出件数	教材(DVD、ビデオ等)の年間貸出件数		件	107	102
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや低い	・社会教育、学校教育へのAV情報の提供は、視聴覚学習の普及振興に寄与するものではあるが、貸し出し業務については、利用が低迷している状況にある。
	有効性	やや低い	・利用者が固定化されており、利用も伸び悩みの状況にある。
	効率性	やや低い	・必要性、有効性とも低く、利用状況が伸び悩んでいる反面相当の経費を要しており、費用対効果の観点からも見直しが必要である。

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	縮小	・利用率の伸び悩みや映写機等の老朽化が進む中、維持管理コストと比較して必要性や有効性が低い事業であり縮小を検討する必要がある。
	手法の改善	軽微な改善	・利用が低迷していること及び貸出される教材が固定化されていることから、新規購入の縮小について検討する必要がある。

●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止

#### 今後の事業展開方針

新規購入の縮小に向けた検討を行う。

#### 平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)

- ・旅費の削減(△20千円)
- ・消耗品費の削減(△300千円)

#### 23年度予算事業費増減見込(千円)

対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
		国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
削減見込①	-320	0	0	0	-320
増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	-320	0	0	0	-320



## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習センター維持管理事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2015005	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部生涯学習センター			
	款	総務費		連絡先	078-918-5600			
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	目	生涯学習センター費		根拠法令・要綱等	生涯学習センター条例、同施行規則			
	事業	生涯学習センター維持管理事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		
	(節)	第3節 生涯学習の振興						
個別計画		明石市生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象(誰を・何を)								
	生涯学習センターの施設・設備(アスパア明石北館の7階～10階部分、6209㎡。男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム:子ども図書館含む)								
事業の目的	意図(どういう状態にしたいのか)								
	市民がセンターを安全・快適に利用できるよう、また、職員が効率的に執務できるよう、センターの施設・設備の状態を良好に保つ。								

事業内容	<平成20年度>								
	① 保守・点検								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央監視盤、AVシステム、空調装置について、年1回の保守点検を実施した。</li> <li>・給水式冷温機(冷房)について、年2回の保守点検を実施した。</li> <li>・電話交換機、エアコン空調機について、月1回の保守点検を実施した。</li> </ul>								
	② 修理・修繕								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン室空調工事、熱源系統ポンプ整備、全熱交換設備洗浄、ホール舞台修繕、分室和室修繕、ネオンサイン看板修繕等、全30件の修理、修繕を行った。</li> <li>・電気・ガス・水道・館内イントラ回線・電話回線の供給を行った。</li> <li>・建物(アスパア)共用部分等の維持管理費を負担した。</li> </ul>								
	③ インフラ設備維持								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気・ガス・水道・館内イントラ回線・電話回線の供給を行った。</li> <li>・建物(アスパア)共用部分等の維持管理費を負担した。</li> </ul>								
	④ 清掃・・・年1回の定期清掃と295日の日常清掃を行った。								
事業内容	⑤ 警備・・・開館日295日の夜間(16:30～22:00)の見回り警備と利用者案内を行った。								
	深夜(22:00～8:00)及び休館日の機械警備を行った。								
	<平成21年度> ※下記変更以外は平成20年度とほぼ同じ								
	② 修理・修繕								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習室3遮音工事、ネオンサイン看板改修、エルネットシステム撤去、蓄熱層タンク塗装工事等を実施。</li> <li>・21年度修理、修繕回数は29件</li> </ul>								
	④ 清掃 21年度回数は302日								
	⑤ 警備 21年度回数は302日								
	<平成22年度予定> ※下記変更以外は平成21年度とほぼ同じ								
事業内容	② 修理・修繕								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者用館内案内表示の点字パネルを設置予定。</li> </ul>								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	83,815	10,110	93,925	0	0	9,091	84,834	正規	1.10	アルバイト	0.00
21決算	76,886	10,050	86,936	0	0	234	86,702	再任用	0.50	その他	0.00
22当初予算	82,521	11,650	94,171	0	0	239	93,932	臨時	0.00	合計	1.60

22年度当初予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	22年度当初予算 明細	需用費	消耗品費(蛍光灯管球等)、施設・設備修繕代、ガス料金	6,569		
役務費		冷却塔水質検査	147			
委託料		施設清掃・設備保守業務委託等	20,152			
使用料及び賃借料		施設予約サーパ-リース料等	1,681			
備品購入費		施設維持管理用備品一式	200			
負担金補助及び交付金		アスパア明石管理費負担金、修繕負担金等	53,772			
				合計		82,521

整理番号	2015005	事務事業名	生涯学習センター維持管理事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	修繕件数	施設設備を安全・快適に供用するため年間修繕件数を指標とする。	件	30	29	30
	事故件数	設備の不具合による年間事故件数	件	0	0	0
<b>指標で表せない成果</b> 維持管理業務の一部を委託化することにより、業務の効率化(コストや職員の負担軽減)が図られている。						

事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習センターは、市の生涯学習推進の拠点施設であり、その維持管理については市が主体となって実施する必要がある。</li> <li>生涯学習センターを運営する上で、施設設備を安全・快適に利用できるよう維持管理することは不可欠である。</li> </ul>
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備を安全・快適に供用するため、経年劣化による設備の維持管理を適切に実施する必要がある。</li> <li>設備の維持管理について、高度な専門性が求められる業務については、委託化を図るなど適正な維持管理に努めている。</li> <li>設備の不具合等による事故を未然に防止している。</li> </ul>
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業に要する経費の65%は、区分所有者として負担義務を負う管理組合費(「アスピア明石」の全体共用部のメンテナンス経費)であり、コスト削減の余地は少ない。</li> <li>設備の保守点検業務等については、一部を除き競争入札により業者委託しており、効率的に行われている。</li> <li>今後、施設(H13完成)が老朽化するにつれ、維持管理経費の増加が想定される。</li> </ul>
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性、有効性とも高く、設備の維持管理という業務の性格から概ね現状どおりの規模で継続して行う必要がある。</li> <li>平成13年の竣工から9年を経過しており、今後、設備の老朽化による維持管理経費の増加が見込まれる。</li> </ul>
	手法の改善	軽微な改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備の維持管理にかかる一部業務については、今後、競争入札導入の可否について検討する必要がある。</li> <li>事務経費の65%を管理組合費が占めており、コスト削減の余地は少ない状況ではあるが、今後、更なる経費節減を図るため、アスピア明石への負担金の積算根拠となる共用部分の保守・点検・修繕について、管理組合の中で、積極的なコスト削減について働きかけを行っていく。</li> </ul>
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年の竣工以来、9年を経過しており経年劣化による利用環境の水準を低下させることなく安全・快適な施設共用を維持していく必要がある。</li> <li>上記に伴い今後、維持管理費用の増加が予想されるが、管理組合費について管理組合へのコスト削減の働きかけを行うなど更なる経費節減について検討を進める。</li> </ul>	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
アスピア明石修繕工事負担金 ・平成23年度予定される修繕工事 防火シャッター避難時停止装置取付工事 +2,000千円 ・平成22年度限りの修繕工事 生涯学習センター内視覚障害者対策工事ほか -4,336千円	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	-4,336	0	0	0	-4,336
	増加見込②	2,000	0	0	0	2,000
差引①+②	-2,336	0	0	0	-2,336	

# 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2015006		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部生涯学習センター				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5600				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度		
	目	生涯学習センター費	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則				
	事業	生涯学習推進事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
第4次長期総合計画	(章) 第5章 人を育み、文化を創造するまち	個別計画	明石市生涯学習ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節) 第3節 生涯学習の振興							

事業の目的	対象(誰を・何を)						
	市民						
意図(どういう状態にしたいのか)							
市民がいつでも、どこでも、多種多様な生涯学習に取り組むことができる。							

事業内容	<p>&lt;平成20年度&gt;</p> <p>①講座・イベント等の実施(生涯学習センター、分室、中学校区コミセンで開催) あかし楽講座(歴史講座等)…受講者のべ893名、ゆうゆう塾(市民企画講座)…受講者のべ575名、パソコン講座(民間企業に委託)…受講者のべ878名、市民セミナー(現代的課題を取り上げた講演会)…参加者のべ135名、スキルアップ社会人交流セミナー…参加者279名、ジュニアアカデミー…受講者のべ135名、レコーディング講座・舞台制作講座…受講者45名、シニアカレッジ…学生数104名、コミセン高齢者大学…学生数908名など、総受講者数5424名</p> <p>②生涯学習相談…年間相談件数149件</p> <p>③生涯学習指導者の育成…明石生涯学習指導者会の研修会を年2回開催</p> <p>④生涯学習ビジョンの策定…策定委員会で素案を検討</p>						
	<p>&lt;平成21年度&gt;</p> <p>①講座・イベント等の実施(生涯学習センター、分室、中学校区コミセンで開催) あかし楽講座(歴史講座等)…受講者のべ1007名、ゆうゆう塾(市民企画講座)…受講者のべ1170名、パソコン講座(民間企業に委託)…受講者のべ933名、市民セミナー(現代的課題を取り上げた講演会)…参加者のべ310名、スキルアップ社会人交流セミナー…参加者のべ345名、ジュニアアカデミー…受講者のべ68名、レコーディング講座…受講者76名、シニアカレッジ…学生数116名、コミセン高齢者大学…学生数918名など、総受講者数7410名</p> <p>②生涯学習相談…年間相談件数149件</p> <p>③生涯学習指導者の育成…明石生涯学習指導者会創立15周年記念ステージ発表を開催、研修会を年2回開催</p> <p>④生涯学習ビジョンの策定…策定委員会で検討、パブリックコメントを経て、平成21年10月策定</p>						
	<p>&lt;平成22年度&gt;※下記変更以外は21年度とほぼ同じ</p> <p>①講座・イベント等の実施 ・スキルアップ社会人交流セミナーを拡充…スペシャル講演会、セミナーを含めて全14回実施予定</p> <p>⑤明石市生涯学習推進プランを策定…平成23年3月に策定予定</p>						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	再任用	アルバイト	その他
20決算	17,144	42,390	59,534	0	0	1,643	57,891	3.90	1.80	0.00	0.00
21決算	19,492	42,190	61,682	0	0	1,414	60,268	1.80	0.90	0.10	0.10
22当初予算	22,616	43,899	66,515	1,190	0	1,441	63,884	0.90			6.70

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	講師等謝礼	6,820		
	需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	1,468			
	役務費	チラシ等郵送料、保険料、舞台人件費等	314			
	委託料	パソコン講座、シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	13,298			
	使用料及び賃借料	バス借上料、コピー使用料	320			
	備品購入費	記録用ビデオカメラ等購入費	380			
	負担金補助及び交付金	研修参加負担金	16		合計	22,616

整理番号	2015006	事務事業名	生涯学習推進事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	講座受講者数等	講座の受講者数、講演会の参加者数等を集計	人	5,424	7,410	7,650
<b>指標で表せない成果</b>						
高齢者インターネット教室で育成したシニアの講師・サポーターは、当該インターネット教室のみならず、地域のIT化を進める原動力となりうる。また、市民企画型講座ゆうゆう塾は、市民が自分の特技・技能・知識を活かして何かをはじめるきっかけになっている。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・第4次長期総合計画に基づき、学習機会の提供、学習活動への支援等を行うものであり、市が主体となって実施する必要性は認められる。 ・生涯学習の振興にかかわる施策の企画立案は本来市が行うべき業務である。
	有効性	高い	・ライフステージを意識した多彩な学習機会の提供が行われており、多くの市民が講座・イベントに参加している。 ・学習事業を通じ、市民同士の交流や、行政と市民・NPO・大学などの参画と協働が進むことの意義は大きい。 ・地域の発展や、文化芸術の振興に結び付く学習事業が実施されていることの意義は大きい。 ・現在、こどもや若い社会人向けの事業展開も進めており一定の成果をあげているが、もっと若い世代にも役立つ事業を増やし、バランスの良い事業展開を図る必要がある。
	効率性	高い	・コミュニティーセンターにおける事業は、その地域（コミセン運営委員会）に事業委託し、また市民が自ら企画し実施する講座や、学識経験者からなるボランティアグループが企画する講座など、地域や市民が協力して事業の実施にあたっており、効率的な手法による事業実施を行っている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	必要性、有効性、効率性ともに高い当事業は、概ね現状どおりの規模で継続して行う必要がある、
	手法の改善	維持	市民、NPO、高等教育機関等、さまざまな生涯学習の担い手との連携をより強化し、内容の充実を図って行く必要がある。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

**今後の事業展開方針**

明石市における生涯学習振興の基本理念・基本方針を示す「明石市生涯学習ビジョン」に基づいて策定中の「明石市生涯学習推進プラン」に定める重点施策を実施するとともに、時代に応じた市民の学習ニーズに合致したものであるかどうかを常に検証しながら事業内容を見直して行く。

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）						
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳				
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
	・子育て創生事業補助金（単年度補助金）により拡充した「スキルアップ社会人交流セミナー」の事業規模を平成21年度レベルに戻すため△1190千円	削減見込①	-2,119	-1,190	0	0	-929
	・明石市生涯学習推進プラン策定終了に伴う経費の削減△929千円	増加見込②	500	0	0	0	500
・明石市生涯学習推進プランに設定する重点施策を実施するため+500千円	差引①+②	-1,619	-1,190	0	0	-429	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		あかねが丘学園運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2020001	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部あかねが丘学園			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5415			
	目	あかねが丘学園費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	事業	あかねが丘学園運営事業	根拠法令 ・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・ 明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施 行規則			
第4次長期 総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
	(節)	第3節 生涯学習の振興		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画							

事業 の 目 的	対象(誰を・何を)	明石市在住の60歳以上の人
	意図(どういう状態にしたいのか)	高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者ができるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。

事業 内 容	あかねが丘学園は、3年間の系統立てた学習プログラムをもとに、午前は共通講座、午後は専攻コースに分かれて学習を行い、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につける。
	<p>【平成20年度】</p> <p>①本校 コース: 景観園芸・生活ふくし・ふるさとコミュニティ・音楽交流・健康スポーツ交流          学生数: 348人(1学年109人、2学年115人、3学年124人)          学習日: 月曜 クラブ活動、火曜 地域活動支援、水曜 3学年、木曜 2学年、金曜 1学年</p> <p>②地域活動支援日は、卒業生と在校生の地域活動を支援するための学習日で、公開講座、各種講習・講座などの実施と地域活動グループへの施設設備の開放と、相談・助言を行なっている。          ・その他、学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。</p> <p>③学習スケジュール: 授業は週1回、年間35日程度、午前: 共通講座(学年全体で受講)、午後: 専攻コース(各専攻コースで受講)          主な年間スケジュール: 4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2~3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p> <p>【平成21年度】</p> <p>・事業内容は、平成20年度と同様に実施した。          学生数: 319人(1学年116人、2学年100人、3学年103人)</p> <p>【平成22年度】</p> <p>・事業内容は、平成20・21年度と同様に実施する。          学生数: 314人(1学年119人、2学年100人、3学年95人)</p>

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	21,462	12,690	34,152	0	0	5,549	28,603	0.90	0.00	0.10	0.10
21決算	21,645	9,800	31,445	0	0	5,833	25,612	0.50	0.00	0.10	0.10
22当初予算	23,003	10,070	33,073	0	0	5,794	27,279	0.50	0.00	0.10	1.60

22年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	22年度 当初 予算 明細	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	9,364	原材料費	学習用教材費
旅費		市内出張旅費、研修旅費	150			
需用費		消耗品費(事務用品、社会参加活動用教材等)、印刷製本費(学習カリキュラム、入学案内パンフレット等)	2,374			
役務費		通信運搬費、ピアノ調律料	247			
委託料		社会教育コーディネーター委託料	10,210			
使用料及び賃借料		コピー使用料、NHK受信料、CA TV受信料等	615	合計		23,003

整理番号	2020001	事務事業名	あかねが丘学園運営事業
------	---------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	109	116	119
	ボランティア実施状況	あかねが丘学園のボランティアグループのボランティア実施回数	回数	1,491	1,655	1,800
<b>指標で表せない成果</b>						
ボランティア活動の依頼先は、高齢者施設、保育所、幼稚園、放課後児童クラブをはじめ市主催のイベント等多彩であり、件数も増加している。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に、より一層充実した学習の機会を提供し、有為な人材活用とその社会参加・社会貢献を図るため市の事業として重要である。</li> <li>・明石市第4次長期総合計画の中の高齢化社会への対応の生きがいづくりと社会参加の支援・生涯学習の振興の施設の整備に該当し、今後も高齢化社会への対応は重要なことである。</li> </ul>
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後、在学中からのグループで地域活動を本格的に実践するなど成果をあげている。</li> <li>・平成20年度 ボランティア登録者数：855人、グループ数：72、実施延べ人数：6999人</li> <li>・平成21年度 ボランティア登録者数：1027人、グループ数：79、実施延べ人数：8191人</li> </ul>
	効率性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター業務は、すでに委託が実施されており、コスト削減と効率化が図られている。</li> <li>・現在の3年間の段階的な共通講座・専攻コースによる学習は、社会情勢の変化、時代のニーズに即応できる体制をとっている。</li> </ul>
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あかねが丘学園は、多彩な講師陣や多様なカリキュラムなど事業の目的に沿った市民のニーズに応える運営をしている。</li> <li>・卒業生、在校生による地域活動・ボランティア活動も盛んである。</li> </ul>
	手法の改善	軽微な改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者数は横ばい状態であり、また定員に満たないため学生募集については、市民のニーズ等も研究し広報等の見直しもする必要がある。</li> </ul>
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、カリキュラムの見直し等など事業の目的に沿った市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。</li> <li>・卒業生、在校生による地域活動・ボランティア活動へのバックアップも充実させていく。</li> </ul>	

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		あかねが丘学園維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2020002		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部あかねが丘学園				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5415				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度		
	目	あかねが丘学園費		根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則				
	事業	あかねが丘学園維持管理事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
第4次長期総合計画		(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
		(節)	第3節 生涯学習の振興						
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)		あかねが丘学園の施設、設備					
	意図(どういう状態にしたいのか)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園の運営を円滑に行ない、学生が学習等で学園を快適に使用できるように維持管理する。</li> <li>・市民が学園を安全・快適に利用できるよう、また職員が効果的に執務できるよう学園施設・設備の状態を良好に保つ。</li> </ul>					

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設・設備の保守・点検・修理</li> <li>②電気・水道・ガス施設点検、樹木剪定</li> <li>③清掃 年1回の定期清掃、屋外清掃委託</li> <li>④警備 機械警備委託</li> </ul>						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	9,683	6,210	15,893	0	0	0	15,893	0.60	0.00	0.30	0.90
21決算	9,831	7,260	17,091	0	0	0	17,091	0.30	0.90	0.30	2.10
22当初予算	10,865	9,690	20,555	0	0	0	20,555	0.30	2.10	0.30	2.10

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		需用費	施設設備補修費、光熱水費(電気料金、ガス料金、水道料金)	8,600		
	役務費	簡易専用水道検査手数料	18			
	委託料	設備関係保守点検費用	2,235			
	負担金補助及び交付金	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	12			
					合計	10,865

整理番号	2020002	事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業
------	---------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	・日常及び定期など計画的な点検等で不具合が見つかった場合や修繕箇所が発生した場合、できるだけ速やかに対応するようにしている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・本学園は明石市第4次長期総合計画に基づき生涯学習の拠点として開設されている施設で、その維持管理については市が主体となって実施する必要がある。 ・あかねが丘学園を運営する上で、施設・設備を快適に利用できるよう維持管理することは不可欠である。
	有効性	高い	・施設の老朽化は否めないが、施設・設備を適宜修繕しているので概ね良好に維持されている。 ・当学園の施設は朝霧コミセンや地域交流センターとしても利用されていて多くの市民に有効に利用されている。
	効率性	高い	・日常の清掃(剪定・草刈・グラウンド整備)は学生が実施するなど経費の節減に努めている。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・学園の施設・設備の維持管理は、学園の運営に必要不可欠なものである。
	手法の改善	維持	・施設・設備の維持管理は、利用実体にあつた方法でできるよう検討する。(安全対策を重視した上での利用頻度に応じた施設・設備への経費等の集中)
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
・今後も修繕については、不具合箇所の早期発見・早期修繕が費用の削減につながるので迅速な対応に努める。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		23年度予算事業費増減見込(千円)				
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②		0	0	0	0	0



## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名		あかねが丘学園施設整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2020003		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部あかねが丘学園				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5415				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度		
	目	あかねが丘学園費		根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則				
	事業	あかねが丘学園施設整備事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
第4次長期総合計画		(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
		(節)	第3節 生涯学習の振興						
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)		あかねが丘学園の施設、設備					
	意図(どういう状態にしたいのか)		老朽化した学園の施設・設備であるが利用者が、安心して安全に利用できるよう努める。					

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度は、西館(4階建)にエレベーターを設置及び、南館と体育館の渡り廊下をバリアフリー化した。</li> <li>・平成21年度は、屋内運動場(体育館)耐震補強工事実施設計委託。</li> <li>・平成22年度は、体育館2・3階部分改修工事実施設計委託。</li> </ul>											

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	43,202	1,800	45,002	0	43,200	0	1,802	0.20	0.00	0.00	0.00
21決算	4,095	2,150	6,245	0	3,700	0	2,545	0.10	0.00	0.00	0.00
22当初予算	4,500	2,150	6,650	0	4,500	0	2,150	0.00	0.00	0.00	0.30

22年度当初予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		委託料	体育館2・3階部分改修工事 実施設計委託	4,500		
					合計	4,500

整理番号	2020003	事務事業名	あかねが丘学園施設整備事業
------	---------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	指標で表せない成果					
	・平成20年度:エレベーター設置、渡り廊下のバリアフリー化					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・あかねが丘学園(朝霧コミセンを含む)の施設利用者がいつでも安心して利用できるよう整備する必要がある。 ・施設設置者として、施設・設備が安全で効率的な運用ができるよう改修・整備することは必要である。
	有効性	高い	・エレベーター設置については、常時学生の使用、荷物の運搬に頻繁に使用されている。 ・バリアフリー化した渡り廊下も安全になり通やすくなっている。
	効率性	高い	・日常の修繕等は適宜実施しており、長期的な改修計画に基づく施設・設備の改修については営繕課と協議の上、実施している。 ・工事、設計等については、営繕課・契約課をとおして入札し、発注している。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・営繕課、耐震推進課との協議により改修、耐震化をすすめる。
	手法の改善	維持	・営繕課、耐震推進課との協議により改修、耐震化をすすめる。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止      ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針						
・施設の計画的な改修更新を行い、安全で効率的な運営を図っていく。						

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)			23年度予算事業費増減見込(千円)					
		対22年度 当初予算比	合計	財源内訳				
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	
				削減見込①	0	0	0	0
				増加見込②	0	0	0	0
		差引①+②	0	0	0	0		

## 平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業			新規/継続	継続事業	整理番号	2020004		
				分割/統合					
				事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化芸術部あかねが丘学園				
	款	総務費		連絡先	(078)918-5415				
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度		
	目	あかねが丘学園費		根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則				
	事業	あかねが丘学園西分校運営事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
第4次長期総合計画	(章)	第5章 人を育み、文化を創造するまち			<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節)	第3節 生涯学習の振興							
個別計画									

事業の目的	対象(誰を・何を)	明石市在住の60歳以上の人		
	意図(どういう状態にしたいのか)	高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者ができるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。		

事業内容	あかねが丘学園西分校は、2年間の系統立てた学習プログラムをもとに、午前は共通講座、午後は専攻コースに分かれて学習を行い、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につける。			
	<p>【平成21年度】</p> <p>①分校 コース: 健康科学・陶芸文化                  学生数: 51人(1学年のみ)                  学習日: 火曜 1学年</p> <p>②学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。</p> <p>③学習スケジュール: 授業は週1回、年間35日程度、午前: 共通講座(学年全体で受講)、午後: 専攻コース(各専攻コースで受講)                  主な年間スケジュール: 4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2~3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p> <p>【平成22年度】</p> <p>・事業内容は、平成21年度と同様に実施する。                  学習日: 火曜 1学年、金曜 2学年                  ・学生数: 85人(1学年40人、2学年45人)</p>			

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他	
20決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.30	0.00	0.50	0.00
21決算	9,730	4,990	14,720	0	0	765	13,955	0.20	0.00	0.50	0.00	0.00
22当初予算	16,670	4,990	21,660	0	0	1,530	20,130	0.20	0.00	0.50	0.00	1.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	4,000		
	旅費	市内出張旅費	100			
	需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費(電気料金、水道料金)	1,220			
	役務費	通信運搬費	100			
	委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室委託、社会教育コーディネーター委託	3,750			
	使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	7,200			
	備品購入費	物置、健康科学コース備品等	300		合計	16,670

整理番号	2020004	事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数		51	40
指標で表せない成果						
今まで希望のあった西部地区でのあかねが丘学園西分校の開設。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習意欲の高い高齢者に対して、より一層充実した学習の場を提供することにより、有為な人材の活用とその社会参加・社会貢献を図るため市の事業として重要である。</li> <li>明石市第4次長期総合計画の中の高齢化社会への対応の生きがいづくりと社会参加の支援、生涯学習の振興の施設の整備に該当し、今後も高齢化社会への対応は重要なことである。</li> </ul>
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度は、応募者数が定員を超え抽選となるなど多くの高齢者に喜ばれている。</li> <li>開校以降、円滑に実施されている。</li> </ul>
	効率性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎をもたないで運営しているので非常に固定経費が低く抑えられている。</li> <li>分校は2年制2コース(健康科学コース、陶芸文化コース)に限定したものになっている。</li> <li>現在の2年間の段階的な共通講座・専攻コースによる学習は、社会情勢の変化、時代のニーズに即応できる体制をとっている。</li> </ul>
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	あかねが丘学園本校と同様、多彩な講師陣や多様なカリキュラムなど事業の目的に沿った運営をしている。
	手法の改善	軽微な改善	開校2年目であるが入学者数の減少をおさえるため、本校同様学生募集の方法等の見直しを図る。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
平成22年度は2学年になるため、次年度以降より効率的な運営をするよう心がける必要がある。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)						
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳				
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
	・備品購入費減						
	削減見込①	-100	0	0	0	-100	
増加見込②	0	0	0	0	0		
差引①+②	-100	0	0	0	-100		